

# SONY®

## リニアPCMレコーダー 取扱説明書



インターネット上でヘルプガイド(Web取扱説明書)を閲覧できます(パソコン・スマートフォン用)。リニアPCMレコーダーの詳しい使いかたや困ったときの対処方法を説明しています。  
<http://rd1.sony.net/help/icd/pcma10/ja/>



PCM-A10



**警告**

## 安全のために

### **お買い上げいただきありがとうございます。**

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この「取扱説明書」と「ヘルプガイド」(パソコン等で見える電子マニュアル)には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。

よくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わない**
- **万一異常が起きたら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口(www.sony.com/jp)に修理を依頼する**

## 警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

 **危険** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなど人身事故が生じます。

 **警告** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

 **注意** この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

### 注意を促す記号



火災



感電

### 行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止



接触禁止

## マニュアルについて



紙で見る

### 取扱説明書(本書)

リニアPCMレコーダーの基本操作(録音・再生・削除)や上手に録音、再生するための情報、困ったときの解決方法などを記載しています。

### レコーディングテクニックガイド(別冊)

録音の基本や楽器、録音場所別の録音テクニックを記載しています。

### REC Remote (レックリモート)を使う(別冊)

スマートフォン用アプリ「REC Remote」のインストール方法やできること、基本的な操作方法を記載しています。

### Sound Organizer 2

#### (サウンドオーガナイザー 2)を使う(別冊)

パソコンにインストールできるソフトウェア「Sound Organizer 2」のインストール方法やできること、基本的な操作方法などを記載しています。



パソコン  
スマートフォン  
タブレットで  
見る

### ヘルプガイド(Web取扱説明書)

リニアPCMレコーダーの楽しみかたや機能の詳細説明、困ったときの対処方法などをパソコンで調べることができます。

また、外出先などでスマートフォンやタブレット端末で調べることもできます。

閲覧は無料ですが、通信料は通信契約に依存します。

### リニアPCMレコーダー サポート・お問い合わせページ (81 ページ)

トラブルの解決方法や接続機器の互換性情報、最新情報を掲載しています。

# 目次

マニュアルについて .....	4
-----------------	---

## 準備する ..... 6

準備1 箱の中身を確認する .....	6
準備2 各部のなまえを確認する .....	7
準備3 充電する .....	9
準備4 電源を入れる .....	11
準備5 初期設定をする .....	12

## メニューの見かた ..... 14

ホームメニューで使いたい機能を選ぶ ...	14
オプションメニューで設定する .....	16

## 録音する ..... 20

マニュアル録音する .....	20
簡単に最適な録音レベル設定が 可能な「リハーサル機能」 .....	23
自動調整(AGC録音)で録音する .....	26
録音した音声ファイルの保存場所の 変更 .....	29
上手に録音するコツ ーノイズの原因と対策 .....	30
microSDカードに録音する .....	33
その他の方法で録音する .....	36
ラジカセ、テープレコーダー、テレビ などからリニアPCMレコーダー へ録音する .....	40
リニアPCMレコーダーの音を他の 機器で録音する .....	41

## 再生する ..... 42

フォルダとファイルについて .....	43
その他の方法で再生する .....	47

## ワイヤレスで音楽を楽しむ ..... 54

BLUETOOTH®オーディオ機器で 音声を聞く .....	54
-----------------------------------	----

## スマートフォンでリニアPCM レコーダーを操作する (REC Remote) ..... 58

## 編集する ..... 60

ファイルを削除する .....	60
ファイルを保護する .....	62
トラックマークを使う .....	64
ファイルを分割する .....	66
フォルダ内のファイルを整理する (ファイル移動/ファイルコピー) .....	68
各種設定を変更する .....	69
パソコンを活用する .....	73

## 困ったときは ..... 74

症状から調べる .....	75
サポートページ/ ヘルプガイドについて .....	81
保証書とアフターサービス .....	82

## その他 ..... 84

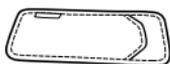
主な仕様 .....	84
使用上のご注意 .....	91
著作権と商標について .....	97
ライセンスについて .....	99
索引 .....	100
お問い合わせ窓口のご案内 .....	102

# 準備する

## 準備1 箱の中身を確認する

はじめに、以下の同梱物が揃っているかを確認してください。

- 本体 (1)
- キャリングケース (1)



- ウィンドスクリーン (1)



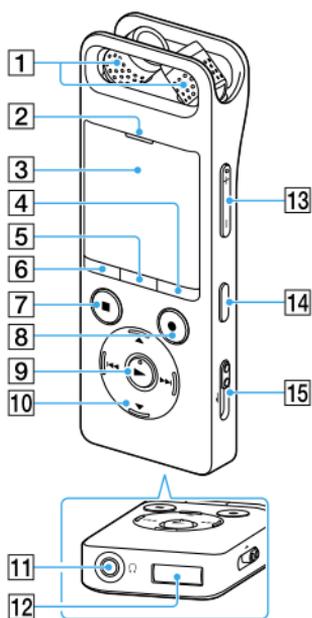
内蔵マイクにかぶせてご使用ください。  
詳しくは、7ページをご覧ください。

- 取扱説明書(本書) (1)
- レコーディングテクニックガイド (1)
- REC Remote (レックリモート)を使う (1)
- Sound Organizer 2(サウンドオーガナイザー 2)を使う (1)
- 保証書 (1)
- 「製品登録」のおすすめ (1)

リニアPCMレコーダーの本体メモリーには、ソフトウェアSound Organizer 2が保存されています。Sound Organizer 1.6をお使いの方も、必ずSound Organizer 2をインストールしてお使いください。Sound Organizer 2のインストールについて、詳しくは、「Sound Organizer 2を使う」(別冊)をご覧ください。

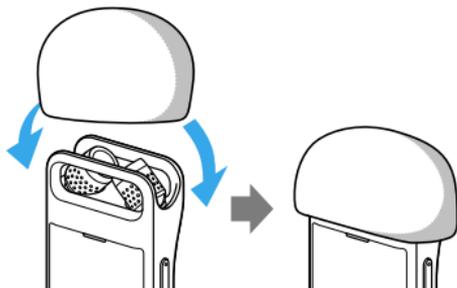
この取扱説明書で説明している以外の変更や改造を行った場合、リニアPCMレコーダーを使用できなくなることがありますので、ご注意ください。

## 準備2 各部のなまえを確認する

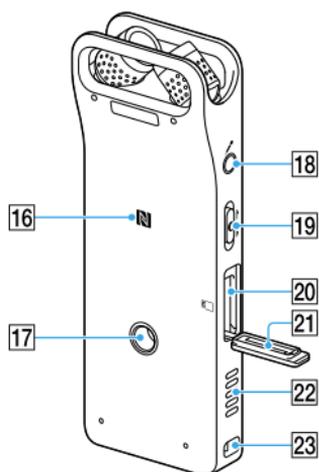


- 1 内蔵マイク\*1
- 2 ピークランプ
- 3 表示窓
- 4 オプションボタン
- 5 トラックマークボタン
- 6 戻る／●ホーム(長押し)ボタン
- 7 ■停止ボタン
- 8 ●録音／一時停止ボタン、録音ランプ
- 9 ►(再生／決定)ボタン\*2
- 10 コントロールボタン(▲DPC(速度調節)、▼◁(リピート) A-B / ◀◀(早戻し)、▶▶(早送り))
- 11 ♪(ヘッドホン)ジャック
- 12 USB蓋 (USB端子はふたの中に格納されています。)
- 13 音量－／＋\*2ボタン
- 14 リハーサルボタン
- 15 USBつまみ(スライド式USB端子用)

\*1 屋外で使用する場合、風切音を軽減するため、内蔵マイクを覆うように付属のウインドスクリーンをかぶせてください。



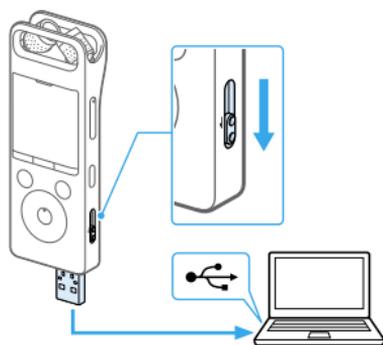
\*2 凸点(突起)がついています。操作の目安、端子の識別としてお使いください。



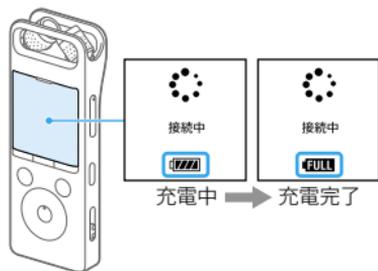
- 16 **N**(Nマーク) (NFC機能があるスマートフォンやBluetoothオーディオ機器をここにタッチして接続します。)
- 17 三脚取り付け用穴  
(三脚は付属していません。)
- 18 **●**(マイク)ジャック
- 19 ホールド・電源スイッチ
- 20 microSDメモリーカードスロット  
(スロット蓋の中にあります。)
- 21 スロット蓋
- 22 内蔵スピーカー
- 23 ストラップ取り付け部  
(ストラップは付属していません。)

## 準備3 充電する

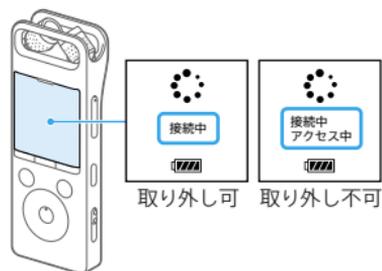
- 1 側面のUSBつまみを矢印の方向へスライドさせて、USB端子を起動しているパソコンのUSBポートに差し込む。



充電が完了すると、電池マークが「FULL」と表示されます。



- 2 充電完了後、リニアPCMレコーダーをパソコンから取り外す。  
画面に「アクセス中」と表示されていないことを確認してから取り外してください。この手順で行わないと、データが破損するおそれがあります。



**Windowsの場合：**タスクバー(パソコンの画面右下)にある「ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す」アイコンをクリックしてください。次に、[PCMRECORDERの取り出し]をクリックしてください。

**Macの場合：**Finderのサイドバーの[PCMRECORDER]の取り外しアイコンをクリックしてください。

アイコン、メニューの表示はOSの種類によって異なる場合があります。

## USB ACアダプターをつないで使う／充電する

USB ACアダプターを使って、家庭用電源コンセントにつないで充電することもできます。

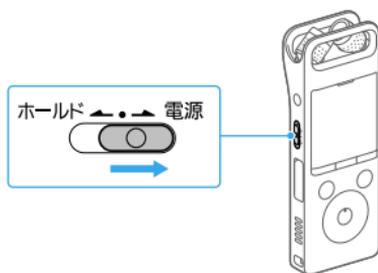
充電をしながらリニアPCMレコーダーを使用することができるため、長時間録音をする場合などに便利です。

市販のUSB ACアダプターを使用するときは、出力電流500 mA以上で給電可能なUSB ACアダプターをご使用ください。これ以外の機器からの充電は保証しておりません。

- ・ リニアPCMレコーダーは、電源を入れている状態でも入れていない状態でも充電できます。
- ・ はじめてお使いになる場合や、しばらくお使いにならなかった場合は、電池マークが「**FULL**」になるまで充電してください。電池を使いきった状態から約3時間で充電が完了します。
- ・ パソコンから取り外す方法については、ヘルプガイド(81 ページ)、またはお使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- ・ USB ACアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。

## 準備4 電源を入れる

- 1 画面が表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドさせる。



### 電源を切るには

画面に「電源オフ」と表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドさせる。

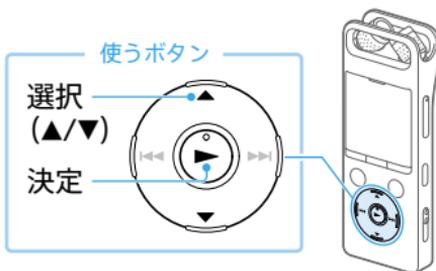
停止状態で操作をしないまま放置していると、オートパワーオフ機能(13 ページ)が働きます。(お買い上げ時の設定は、30分になっています。)

## 準備5 初期設定をする

お買い上げのあと、初めて電源を入れた際に「初期設定をしてください」と表示されます。

### 1 「はい」を選択した状態で、決定する。

時計設定画面が表示されます。



### 2 年(西暦)を選び、決定する。 同じ操作を繰り返し、月、日、 時、分の順に設定する。



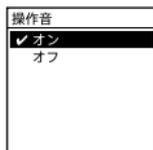
### 3 分を設定したら、「次へ」を選 び、決定する。

操作音の設定画面が表示されま  
す。



### 4 「オン」または「オフ」を選び、 決定する。

設定が完了すると、ホームメ  
ニュー画面が表示されます。



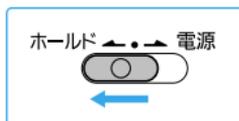
- ・ 戻る／ホームボタンを押すと、カーソルが1つ前の項目に戻ります。
- ・ 時計設定と操作音設定は、ホームメニュー(14 ページ)→ 各種設定 → 「共通設定」で後から変更もできます。

## 便利な情報

### 誤操作を防止する(ホールド)

持ち運び際など、誤ってボタンが押されて動作することを防ぐために、すべてのボタン操作を無効にすることができます。

ホールド・電源スイッチを「ホールド」の方向にスライドさせます。

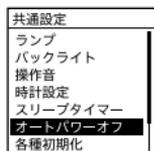


電源が入っているときに操作すると、「ホールド」と現在時刻が約3秒間表示されます。



### 電源が自動に切れるまでの時間を設定する(オートパワーオフ)

あらかじめ指定した時間が経過すると、自動的にリニアPCMレコーダーの電源が切れるように設定できます。オートパワーオフ機能は、リニアPCMレコーダーが停止状態で、操作をしないまま設定した時間が経過したときに働きます。



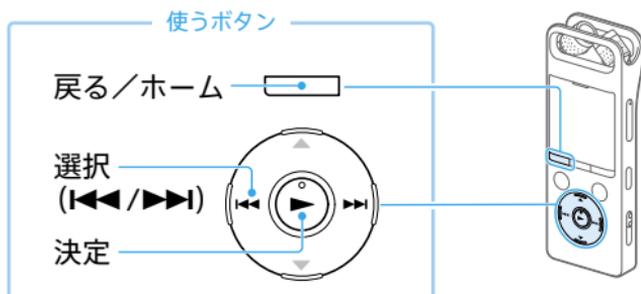
ホームメニュー → 「 各種設定」 → 「共通設定」 → 「オートパワーオフ」 → お好みの時間を選ぶ。

- ・「録音開始タイマー」のカウントダウン中は、「オートパワーオフ」の設定時間が経過しても、電源は切れません。
- ・選べる時間は以下のとおりです。  
5分、10分、30分、60分  
「オフ」を選ぶとオートパワーオフは働きません。
- ・Bluetooth接続中でも、オートパワーオフ機能は有効です。必要に応じて、設定時間を変更してください。

# メニューの見かた

## ホームメニューで使いたい機能を選ぶ

リアPCMレコーダーでは、各機能の入りがホームメニューです。ここから各機能を選んだり、録音したファイルを探したり、設定を変更したりすることができます。



- 1 戻る/ホームボタンを長押しする。  
ホームメニュー画面が表示されます。  
ホームメニューは、15ページの図の順序で並んでいます。
- 2 使いたい機能を選択して、決定する。



## ホームメニューで選べる機能

以下の機能が選べます。



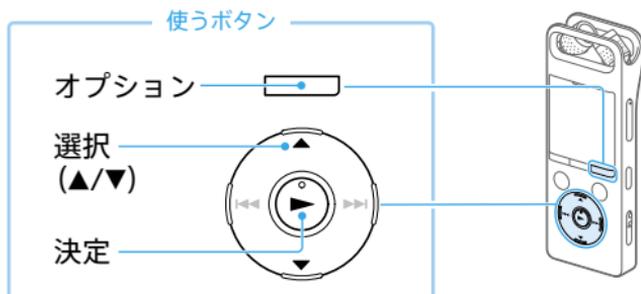
ミュージック	パソコンから転送した音楽ファイルを選んで、再生できます。音楽ファイルは、「全曲」、「アルバム」、「アーティスト」または「フォルダ」のいずれかの方法から探せます。
録音したファイル	リニアPCMレコーダーで録音したファイルを選んで、再生できます。 録音したファイルは、「最新の録音」、「録音日で探す」、「録音シーンで探す」または「フォルダ」のいずれかの方法から探せます。
録音	録音画面を表示します。録音を開始するには、●録音/一時停止ボタンを押します。
Bluetooth	REC RemoteやNFC、Bluetoothオーディオ機器など、Bluetooth機能を使用するメニューを表示します。(54 ページ)
各種設定	リニアPCMレコーダーのさまざまな設定(17 ページ)を変更できます。
XX画面へ*	ホームメニューに入る前に表示していた画面に戻ります。

\* XXには、現在使用している機能が表示されます。

ホームメニューで操作中に■停止ボタンを押すと、ホームメニューに入る前に表示していた画面に戻ります。

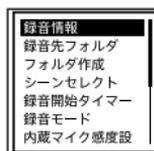
## オプションメニューで設定する

オプションボタンを押すと、使用している機能に応じたオプションメニューが表示され、設定の変更などができます。



- 1 ホームメニュー(14 ページ)で機能を選んだあと、オプションボタンを押す。

使用している機能のオプションメニュー(18 ページ)が表示されます。



例) 録音停止時のオプションメニュー表示

- 2 設定したい項目を選び、決定する。
- 3 設定内容を選び、決定する。

- ・ 画面によっては、オプションメニューが表示されないこともあります。
- ・ メニュー操作中に戻る/ホームボタンを押すと、前の画面に戻ります。

## 各種設定メニュー一覧

ホームメニュー(14 ページ)で「 各種設定」を選んでいるときに選択可能なメニューです。

設定メニュー	設定項目	参照ページ
録音設定	録音先フォルダ	29
	フォルダ作成	29
	シーンセレクト	31
	録音モード	34
	内蔵マイク感度設定	35
	外部入力設定	35
	録音フィルター	25
	リミッター	25
	プリレコーディング	36
	クロスメモリー録音	38
	VOR	39
	シンクロ録音	40
	自動トラックマーク	39
再生設定	クリアボイス	46
	イコライザー	51
	キーコントロール	52
	イージーサーチ	47
	再生モード	50
	再生範囲設定	50
共通設定	ランプ	69
	バックライト	69
	操作音	69
	時計設定	70
	スリープタイマー	70
	オートパワーオフ	13
	各種初期化	71
	録音可能時間	72
	本体情報	72

## オプションメニュー一覧

### 録音

録音中や録音停止中に表示できません。  
条件によっては表示されない項目もあります。

オプションメニュー名	参照ページ
録音情報	35
録音先フォルダ <sup>①</sup>	29
フォルダ作成	29
シーンセレクト	31
録音開始タイマー	38
録音モード <sup>②</sup>	34
内蔵マイク感度設定	35
外部入力設定	35
録音フィルター	25
リミッター	25
プリレコーディング	36
クロスメモリー録音	38
VOR	39
1ファイル削除	60

### 録音したファイル

録音したファイルの一覧を表示させているときや再生中、再生停止中に表示できます。  
条件によっては表示されない項目もあります。

オプションメニュー名	参照ページ
書き起こし用再生	48
書き起こし終了	48
クリアボイス	46
イコライザー	51
キーコントロール	52
イージーサーチ	47
イージーサーチ間隔設定	47
再生モード	50
再生範囲設定	50
1ファイル削除	60
リスト内全削除	60
フォルダ内全削除	60
保護	62
保護解除	62
トラックマーク一覧	49
トラックマーク削除	65
分割	66
ファイル移動	68
ファイルコピー	68
ファイル名変更	63
ファイル情報	52
フォルダ作成	29
フォルダ削除	61
フォルダ名変更	63

## ミュージック

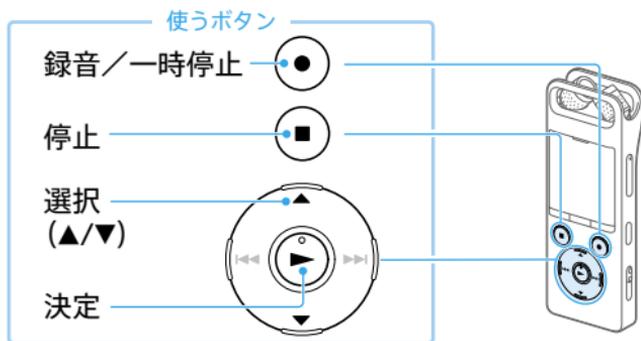
パソコンから転送した音楽ファイルの再生中、再生停止中に表示できません。

条件によっては表示されない項目もあります。

オプションメニュー名	参照ページ
書き起こし用再生	48
書き起こし終了	48
イコライザー	51
キーコントロール	52
イージーサーチ	47
イージーサーチ間隔設定	47
再生モード	50
再生範囲設定	50
1ファイル削除	60
リスト内全削除	60
フォルダ内全削除	60
保護	62
保護解除	62
トラックマーク一覧	49
トラックマーク削除	65
ファイル情報	52
フォルダ削除	61

# 録音する

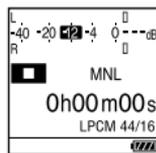
録音した音声ファイルは、お買い上げ時の設定では「 録音したファイル」の「FOLDER01」フォルダに保存されます。「FOLDER01」以外のフォルダに録音したいときは、新しくフォルダを作成してください(29 ページ)。



## マニュアル録音する

音源の状態に合わせて、録音レベルを手動で調節することができます。

- 1 ホームメニュー(14 ページ)で「 録音」を選び、決定する。  
録音停止画面が表示されます。

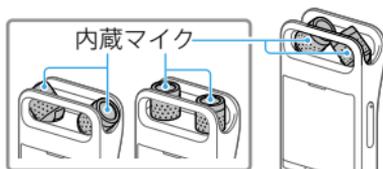


- 2 録音を保存したいメモリー(内蔵メモリーまたはSDカード)とフォルダを選ぶ。(29 ページ)

microSDカードに録音したい場合は、メモリーの切り替えが必要です。

録音停止中にオプションメニュー→「録音先フォルダ」を選び、「メモリー選択」で「SDカード」を選択してから録音を始めてください。

- 3 内蔵マイクの向きを変える。  
録音したい方向に合わせて、手で内蔵マイクの向きを変えます。

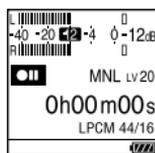


- 4 内蔵マイクを録音する音の方向へ向ける。



- 5 録音/一時停止ボタンを長押しする。

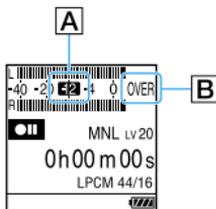
録音ランプが赤く点滅して、録音スタンバイ状態になります。  
マイクの音が入ると、録音レベルのピークレベルメーターが動きます。



- 6 選択ボタンを押して、音源の状態に合わせて、録音レベルを調節する。

録音レベルは、ピークレベルメーターで確認できます。-12dBを目安に、音源にあった適切な範囲に調節します (A)。

録音レベルが大きすぎるときは、表示窓に「OVER」(B)が表示され、ピークランプが点灯します。この場合は音がひずみますので、「OVER」とピークランプが消えるまで▼ボタンを押して録音レベルを下げてください。



- 7 録音/一時停止ボタンを押す。  
**録音**が表示されて録音が始まり、録音ランプが赤く点灯します。



## 8 録音を止めるには、停止ボタンを押す。

「保存中」と表示され、録音停止画面に戻ります。

録音停止後に▶ボタンを押すと、今録音したファイルを再生できます。



- ・別売りのステレオヘッドホンをつないで、録音中の音を確認しながら録音することをおすすめします。ただし、Bluetoothで接続したヘッドホンでは、録音中の音を確認することができません。
- ・ファイルは、録音開始日時に録音モードの拡張子が付いたもの（例：181010\_1010.wav）がファイル名となります。
- ・録音の途中でファイルサイズの上限（LPCMは4 GB、MP3は1 GB）を超えてしまう場合は、ファイルが分割されます。分割された位置の前後で音切れが発生する場合があります。1ファイル最大録音可能時間は、89ページをご覧ください。

## ためし録りのススメ

部屋の大きさ、話をする人の声の大きさ、パソコンを近くで使用しているのかどうか…。

録音環境は人や状況、場所によってさまざまです。望まれる「音質」も録音対象によって変わってきます。

また、楽器などの演奏を録音する場合は、楽器の種類や演奏場所によって、リニアPCMレコーダーの適切な設置場所が異なります。詳しくは、「レコーディングテクニックガイド」（別冊）をご覧ください。

ためし録りは大切な録音を失敗しないため、また録音環境を整えて理想の音質に近づけるために大変有効なものです。

## 簡単に最適な録音レベル設定が可能な「リハーサル機能」

あらかじめ音量確認ができる場合は、リハーサル機能を使うと録音レベルの調整を簡単に行うことができます。



- 1 録音停止中または録音スタンバイ中にリハーサルボタンを押す。  
「リハーサルモード」と表示され、録音ランプが赤く点滅します。



- 2 最大音量の箇所でリハーサルする。  
自動で録音レベルが調整されます。  
楽器演奏などを1分程度行ってください。

- 3 ●録音/一時停止ボタンを押す。  
録音が表示されて録音が始まり、録音ランプが赤く点灯します。

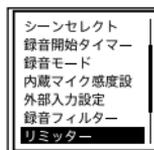


- 4 録音を止めるには、■停止ボタンを押す。

- ・ 本体に触れたときの音で録音レベルが誤って調整されることを防ぐため、リハーサルモード開始直後の3秒間と終了直前の3秒間は、録音レベルの調整を行いません。
- ・ リハーサル中に戻る／ホームボタンを押すと、リハーサルを終了し録音スタンバイ状態になります。
- ・ リハーサル中に■停止ボタンを押すと、リハーサルを終了し録音停止状態になります。
- ・ シンクロ録音中は、リハーサル機能を使うことができません。シンクロ録音機能をオフにしてください。(40 ページ)
- ・ 「内蔵マイク感度設定」が「自動調整(AGC)」に設定されている場合は、リハーサル機能を使うことができません。「リハーサルモードを開始するため、感度設定をマニュアルに変更しますか?」と表示されるので、「はい」を選択してください。
- ・ スマートフォン用アプリ(REC Remote)でも、リハーサル機能を使うことができます。
- ・ リハーサル機能について詳しくは、「レコーディングテクニックガイド」(別冊)をご覧ください。

## 音のひずみを防ぐために入力を調整する (リミッター)

マニュアル録音時に突発的な大音量が入力されたとき、音のひずみを防ぐために入力を自動的に調節します。



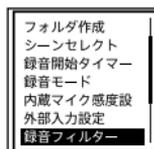
録音停止中にオプションメニュー→「リミッター」→「オン」を選ぶ。

<b>オン</b>	リミッター機能を有効にします。
<b>オフ</b>	リミッター機能を無効にします。

リミッター機能は、「内蔵マイク感度設定」または「外部入力設定」内の感度設定が「マニュアル」に設定されているときに有効です。

## ノイズを軽減して録音する (録音フィルター)

録音フィルターを設定するとノイズを軽減した録音ができます。



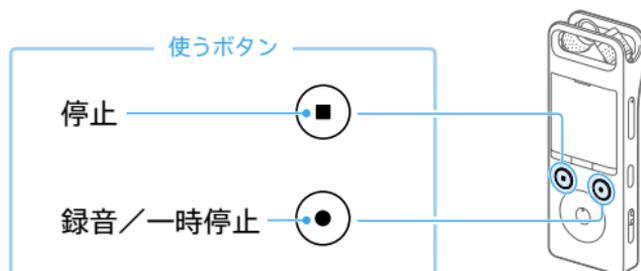
録音停止中にオプションメニュー→「録音フィルター」→お好みの設定を選ぶ。

<b>オフ</b>	録音フィルターを解除します。
<b>NCF (Noise Cut)</b>	音声以外の周波数の音をカットします。
<b>LCF (Low Cut)</b>	低い周波数の音をカットします。

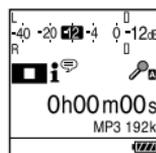
NCF(Noise Cut) は音声録音用に最適化してあるため、マイク感度が音楽用に設定してある場合は無効となります。

## 自動調整(AGC録音)で録音する

設定した内蔵マイク感度設定と録音モードで録音を行います。

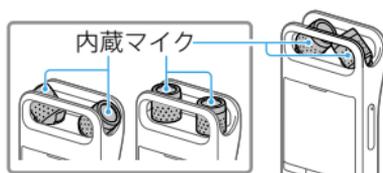


- 1 ホームメニュー(14 ページ)で「録音」を選び、決定する。  
録音停止画面が表示されます。



- 2 録音を保存したい録音先メモリー(内蔵メモリーまたはSDカード)とフォルダを選ぶ(29 ページ)。

- 3 内蔵マイクの向きを変える。  
録音したい方向に合わせて、手動で内蔵マイクの向きを変えます。



- 4 内蔵マイクを録音する音の方向へ向ける。



## 5 ●録音／一時停止ボタンを押す。

**録音**が表示されて録音が始まり、録音ランプが赤く点灯します。

録音中は、録音レベルのピークレベルメーター(①)が表示されます。

図のように、録音中の入力レベルが、ピークレベルメーターの-12 dB付近になるように、内蔵マイクの方向や音源からの距離を調節したり、内蔵マイクの感度を設定(35 ページ)したりして、音源に合った適切な範囲に調節してください。



## 6 録音を止めるには、■停止ボタンを押す。

「保存中」と表示され、録音停止画面に戻ります。

録音停止後に▶再生ボタンを押すと、今録音したファイルを再生できます。

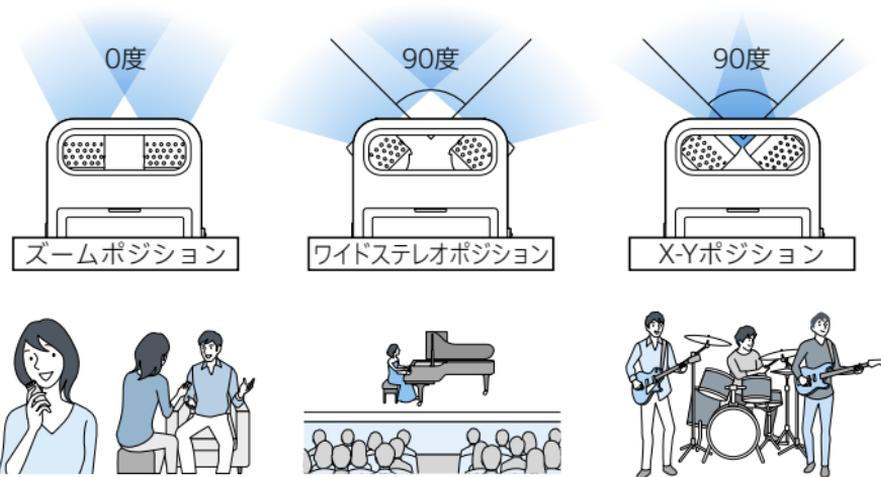


## 可動式マイクを使いこなす

本機では、録音するシーンに合わせて3種類のマイクポジションに手動で変えることができます。

- ①ボイスメモやインタビューなど特定の方向の音を録音するときは、狙った音をクリアに録音する「ズームポジション」
- ②会議、ホールでの演奏、講演会、野外での鳥の声など、左右に広がりのある音（ワイドなステレオ感）を録音するときは、広い範囲を録音する「ワイドステレオポジション」
- ③スタジオなどで音楽を録音するときは、左右のマイクを内側に向け、自然で奥行きのある音を録音する「X-Yポジション」

「X-Yポジション」に設定した場合は、本体を音源に近づけすぎないください。近づけすぎると音が左右逆に入力されることがあります。

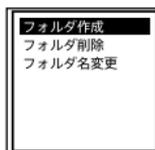


## 録音した音声ファイルの保存場所の変更

録音した音声ファイルは、お買い上げ時の設定では「 録音したファイル」の「FOLDER01」フォルダに保存されますが、新しいフォルダを作成して、作成したフォルダを指定することで保存先を変更することができます。

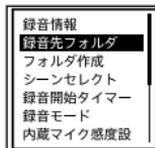
### フォルダを作成する

「 録音したファイル」内にはフォルダを作成することができます。



- ① ホームメニュー → 「 録音したファイル」→ ファイルの検索方法で「フォルダ」を選ぶ。
- ② 「フォルダ」画面で、「内蔵メモリー」または「SDカード」を選ぶ。
- ③ オプションメニュー → 「フォルダ作成」を選ぶ。
- ④ フォルダ名をテンプレートから選んで決定する。  
フォルダが追加されます。

### 録音先メモリー（内蔵メモリーまたはSDカード）とフォルダを変更する



- ① 録音停止中にオプションメニュー → 「録音先フォルダ」を選ぶ。  
「メモリー選択」画面が表示されます。
- ② ▲または▼ボタンで「内蔵メモリー」または「SDカード」を選び、決定する。
- ③ ▲または▼ボタンを押してフォルダを選び、決定する。

## 上手に録音するコツーノイズの原因と対策

### ノイズとして録音される可能性のある音について

リニアPCMレコーダーには、音声以外のさまざまな音が録音されてしまうことがあり、ノイズとして聞こえてしまいます。



触れたときの音



机に当たる音



衣服と擦れる音



エアコンやパソコンなどの動作音や振動



マイクにあたる吐息

### 録音されるノイズを軽減するには

- 録音中に本体に触れると、タッチノイズとして録音されてしまう場合があります。録音が終わるまでは、なるべく本体に触れないようにしてください。
- ノイズの原因となっている音から遠ざけるか、取りのぞいてください。
- 状況や録音シーンに合わせて、次の機能をお使いください。
  - 録音フィルター (25 ページ)
  - シーンセレクト (31 ページ)
  - 録音モード (34 ページ)
  - 内蔵マイク感度設定 (35 ページ)

## シーンセレクト機能を使う

シーンセレクト機能は、さまざまな録音シーンに合わせて、録音モードやマイク感度などの録音に必要な項目を、一括でおすすめの設定に切り替えることができます。

録音情報  
録音先フォルダ  
フォルダ作成  
**シーンセレクト**  
録音開始タイマー  
録音モード  
内蔵マイク感度設

録音停止中にオプションメニューで「シーンセレクト」→用途に合った項目(シーン)を選ぶ。

登録されているシーンは、すべての環境に対応しているわけではありません。環境に合ったシーンがない場合は、「 Myシーン1」や「 Myシーン2」をご使用ください。

### • おまかせボイス

入力音声レベルを判断して適正な感度で録音します。

感度設定を間違えて再生時によく聞こえないなどの録音ミスを少なくします。

「おまかせボイス」は人の声(音声)に特化した設定項目ですが、くしゃみや静かな会話からの急な笑い声など、突発的な大きな音が入力されたときは、音がひずむことがあります。また、音楽録音には適していません。

### • 会議

広い会議室での録音など、幅広い用途に適しています。ハンカチなどの上にリニアPCMレコーダーをのせることで、机から伝わる振動音などのノイズを低減できます。発言者に近い場所で録音してください。



### • 講演

講演会や講義を録音するときに適しています。マイクを音源の方向に向けて録音します。



### • ボイスメモ

マイクを口元に近づけて録音するときに適しています。録音するときは、マイク部に息がかからないように口のやや横に本体を近づけましょう。



### • インタビュー

インタビューや少人数での打ち合わせなど、1m～2mくらいの距離で人の声を録音するときに適しています。マイクの向きをインタビュー相手に合わせて録音します。



### • 歌・音楽

合唱の練習やアコースティックギター、ピアノ、バイオリンなどの楽器の音を1m～2mくらいの距離で録音するときに適しています。



リニアPCMレコーダーをピアノの上のせて録音すると、ピアノを弾くときの振動も一緒に録音されてしまいます。リニアPCMレコーダーをピアノから1m～2m離して録音してください。



### • バンド(大音量)

大きな音のバンド練習やカラオケなどの録音を1m～2mくらいの距離で録音するときに適しています。

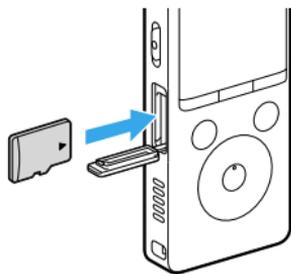


- ・ 歌や音楽の録音は、マニュアル録音(20 ページ)またはリハーサル機能(23 ページ)での録音をおすすめします。
- ・ このほか「 Myシーン1」、「 Myシーン2」にはお好みの設定を保存できます。
- ・ 設定したシーンは録音画面に表示されます。  
シーンを設定していても、「録音モード」や「マイク感度」の設定は変更可能です。  
この場合、シーンアイコンの横に\*マークが表示されます。

## microSDカードに録音する

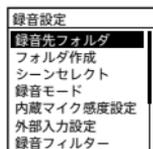
内蔵メモリーのほかに別売りのmicroSDカードへ音声を保存することができます。

- 1 停止中に、microSDカードをメモリーカードスロットにカチッと音がするまでしっかり差し込む。  
microSDカードの端子面が本体裏側になるように、図の方向に差し込んでください。

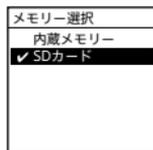


- 2 スロット蓋を閉める。
- 3 ホームメニューで「 各種設定」→「録音設定」→「録音先フォルダ」を選び、▶ボタンを押して決定する。

「メモリー選択」画面が表示されます。



- 4 ▲または▼ボタンを押して「SDカード」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- 5 ▲または▼ボタンを押して保存したいフォルダを選び、▶ボタンを押して決定する。

新規フォルダを作成したいときは、「フォルダを作成する」(29 ページ)をご覧ください。

6 ●録音／一時停止ボタンを押して録音を開始する。

7 録音を止めるには、■停止ボタンを押す。

以下のmicroSDカードを使用できます。

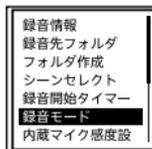
microSDHCカード	4 GB ~ 32 GB
microSDXCカード	64 GB以上

最新の動作確認済みメモリーカードについては、リニアPCMレコーダーサポート・お問い合わせページ(81ページ)をご覧ください。

- ・対応仕様のメモリーカードでも、すべてのメモリーカードでの動作を保証するものではありません。
- ・メモリーカードが認識されない場合はメモリーカードを取り出し、再度入れ直してください。
- ・メモリーカードスロットの挿入口には、液体・金属・燃えやすいものなど、メモリーカード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ・録音する前に、メモリーカードに保存されているデータをパソコンに保存し、本機で初期化して空の状態にしてからお使いください(71ページ)。

## 録音モードを変更する

録音するファイルの録音モード(音質など)を設定できます。

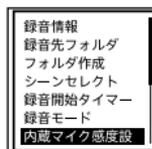


- ① 録音停止中にオプションメニュー→「録音モード」を選ぶ。
- ② お好みの項目を選び、決定する。

LPCMやMP3など、音質を選びます。音質が気になる場合は、LPCMまたはMP3 320kbpsをおすすめします。

## 内蔵マイク感度設定を変更する

内蔵マイクのマイク感度を設定できます。マイク感度を下げると、周囲の音がノイズとして録音されにくくなります。

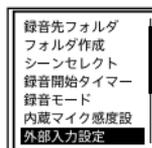


- ① 録音停止中にオプションメニュー→「内蔵マイク感度設定」を選ぶ。
- ② 「自動調整(AGC)」または「マニュアル」を選び、決定する。
- ③ 「自動調整(AGC)」を選んだ場合は、「音声用」または「音楽用」を選び、決定する。
- ④ 音量の大きさに応じて「オート」/「高」/「中」/「低」(音声用) または「高(音楽)」/「中(音楽)」/「低(音楽)」(音楽用)のいずれかを選び、決定する。

手順2で「マニュアル」を選んだ場合、録音中/録音一時停止中に▲または▼ボタンを押して、録音レベルを調整できます。(20 ページ)

## 外部機器の入力モードと入力感度を設定する(外部入力設定)

⌚(マイク)ジャックから録音する際の外部入力の設定(「MIC IN」または「Audio IN」)の設定を行います。



- ① 録音停止中にオプションメニュー→「外部入力設定」を選ぶ。
- ② お好みの項目を選び、決定する。

<b>MIC IN*</b>	⌚(マイク)ジャックに外部マイクをつないだときに選びます。「自動調整(AGC)」と「マニュアル」から選びます。
<b>Audio IN</b>	⌚(マイク)ジャックにオーディオコードなど、外部マイク以外のものをつないだときに選びます。「自動調整(AGC)」と「マニュアル」から選びます。

\* お買い上げ時の設定

## 録音情報を表示する

録音可能時間や録音先のメモリー、フォルダの設定などを表示します。

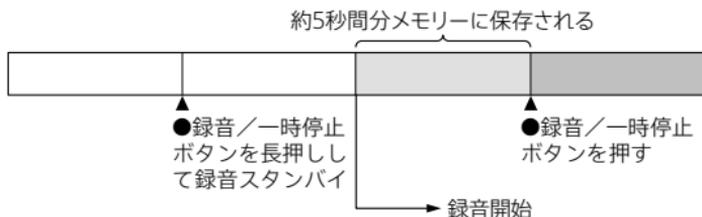


録音停止中に、オプションメニュー→「録音情報」を選ぶ。

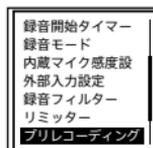
## その他の方法で録音する

### 少し前から録音する—プリレコーディング機能

●録音／一時停止ボタンを押す約5秒前の音から録音を開始することができます。インタビューや野外録音など、急な録音機会を逃したくない場合に便利です。



- 1 録音停止中にオプションメニュー→「プリレコーディング」を選び、▶ボタンを押して決定する。



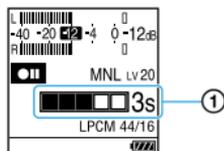
- 2 ▲または▼ボタンを押して「オン」を選び、▶ボタンを押す。

お買い上げ時は「オフ」に設定されています。

- 3 録音を保存したい録音先メモリー（内蔵メモリーまたはSDカード）とフォルダを選ぶ。(29 ページ)

- 4 ●録音／一時停止ボタンを長押しする。

録音スタンバイ状態になります。プリレコーディングが開始され、最大5秒前の音声を蓄積していきます。(①には蓄積した時間が表示されます。)



## 5 録音を始めるには、●録音／一時停止ボタンを押す。

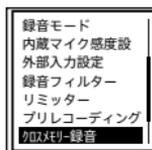
録音スタンバイが解除され、手順4で蓄積した音声から継続して録音を開始します。

## 6 録音を止めるには、■停止ボタンを押す。

- ・ 内蔵マイクを使ってプリレコーディングをしようとする時、●録音／一時停止ボタンを押すときに雑音が入る場合があります。プリレコーディングをする場合は外部マイクを使って録音することをおすすめします。
- ・ 録音を開始せずにプリレコーディングを停止した場合、プリレコーディング時にメモリーに蓄積された音声は保存されません。
- ・ プリレコーディング機能を解除するには、手順2で「プリレコーディング」を「オフ」にします。

## メモリーを切り替えて録音を続ける (クロスメモリー録音)

内蔵メモリーまたはmicroSDカードの残量が録音途中でなくなった場合でも、自動的にもう一方のメモリーに切り替えて録音を続けることができます。

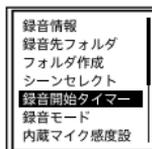


録音停止中に、オプションメニュー→「クロスメモリー録音」→「オン」を選ぶ。

クロスメモリー録音で録音されたファイルを再生するときは、ファイルの検索方法で「録音日で探す」または「録音シーンで探す」を選択してください。ファイルが並んで表示されるため、続けて再生することができます。

## 録音開始タイマーを使う

設定された時間が経過すると、自動的に録音を開始します。

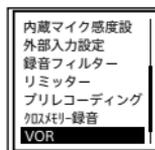


録音停止中にオプションメニュー→「録音開始タイマー」→録音を開始するまでの時間を選ぶ。

15秒から60分まで設定できます。

## 音がしたとき自動録音する(VOR録音)

VOR (Voice Operated Recording) 録音は、ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音が一時的に停止する機能です。

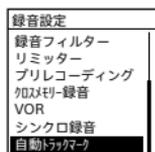


録音停止中にオプションメニュー→「VOR」→「オン」を選ぶ。

- ・「オン」を選んだあとに録音を開始してください。
- ・VOR機能は周囲の環境に左右されます。状況に合わせてマイク感度を切り替えてください。マイク感度を切り替えても思いどおりに録音できないときや、大切な録音をするときは、メニューで「VOR」を「オフ」に設定してください。
- ・マニュアル録音中またはシンクロ録音中は、VOR録音はできません。

## 自動的にトラックマークを付ける

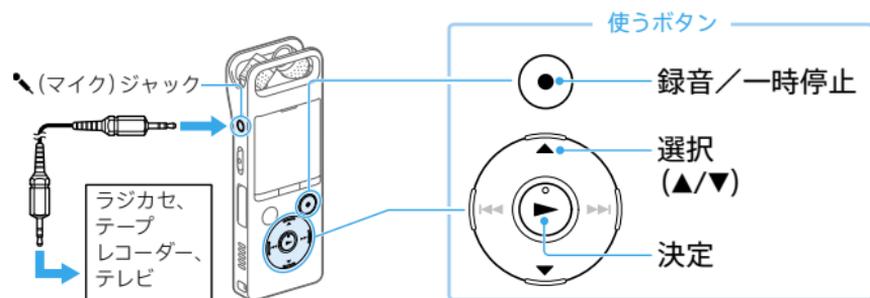
通常録音にトラックマーク (64 ページ) をお好みの間隔で自動的に付けられます。



- ① ホームメニュー→「 各種設定」→「録音設定」→「自動トラックマーク」を選ぶ。
- ② 「間隔設定」を選び、トラックマークを付ける間隔 (5分、10分、15分、30分) を設定する。  
設定が「オン」になります。
- ③ 「時刻情報」を選び、「時刻情報を入れる」を有効にする。  
自動トラックマークが付いたときの時刻の情報を、トラックマークに入れることができます。  
長時間の会話などを録音するときに設定しておく、録音ファイルの再生時に、トラックマークが付けられた時刻から目的の位置を探すことができるため便利です。  
トラックマークは、オプションメニューの「トラックマーク一覧」で確認することができます。

## ラジカセ、テープレコーダー、テレビなどからリニアPCMレコーダーへ録音する

シンク口録音機能を使うと、2秒以上の無音部分が続いた場合に、録音一時停止状態になり、次に音を感知したところから新しいファイルとして録音を行います。



- 1 停止中に他の機器の音声出力端子（ステレオミニジャック）を市販のオーディオコードを使って、リニアPCMレコーダーの（マイク）ジャックにつなぐ。

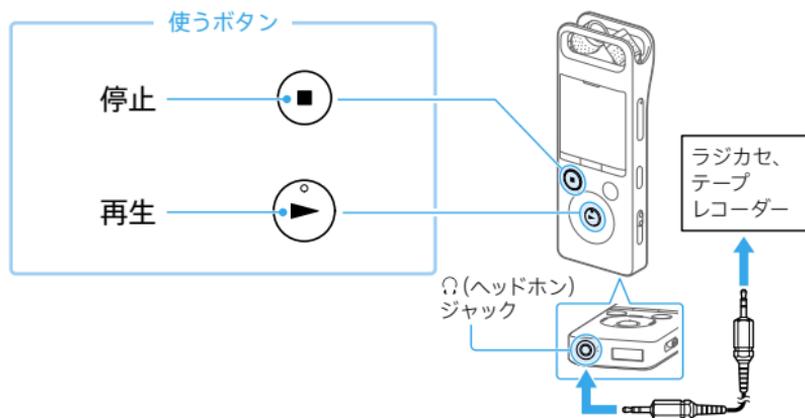
画面に「外部入力設定」が表示されます。

- 2 「Audio IN」を選び、決定する。  
「外部入力設定」が表示されない場合にはオプションメニューから設定してください。

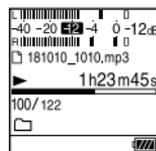
外部入力設定	
✓ MIC IN	↳ 自動調整 (AGC) / ↳ マニュアル
<b>Audio IN</b>	↳ 自動調整 (AGC) / ↳ マニュアル

- 3 シンク口録音機能の確認画面で「はい」を選ぶ。
- 4 録音／一時停止ボタンを押す。  
■ が点滅してシンク口録音が一時的停止の状態になります。
- 5 接続先の▶ (再生) ボタンを押す。  
録音 が表示され、シンク口録音を開始します。

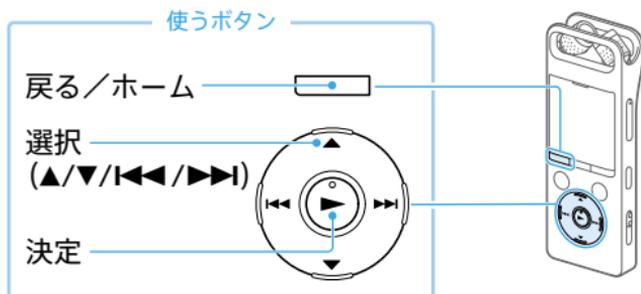
## リニアPCMレコーダーの音を他の機器で録音する



- 1 リニアPCMレコーダーの  $\phi$  (ヘッドホン) ジャックと他の機器の外部入力端子を、市販のオーディオコードを使ってつなぐ。
- 2 録音したいファイルを選択して再生状態にし、同時に、つないだ機器を録音状態にする。
- 3 録音を止めるには、つないだ機器の録音を停止し、もう一度リニアPCMレコーダーの停止ボタンを押して再生を停止する。



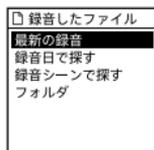
# 再生する



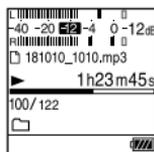
- 1 ホームメニュー(14 ページ)で「 録音したファイル」または「 ミュージック」を選び、決定する。



- 2 選択ボタンを押してファイルを検索する方法を選ぶ。  
「フォルダ」を選んだ場合は、ファイルの保存先のメモリを選んで決定します。



- 3 再生したいファイルを選び、決定する。  
ファイルが再生されます。



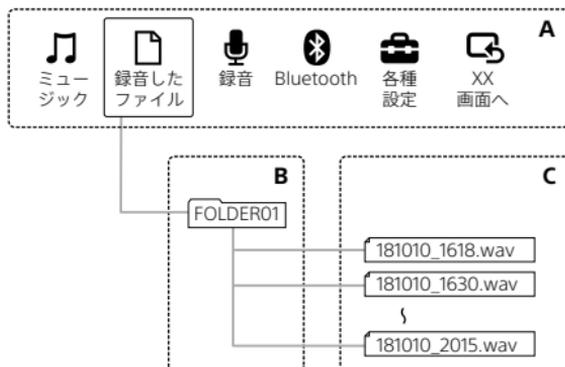
- 4 再生を止めるには、 停止ボタンを押す。

- ・ 音量を調節するには、音量-/+ボタンを押します。
- ・ 内蔵スピーカーは録音結果の簡易確認用のため、音声小さかったり、聞きづらいことがあります。その場合は、別売りのヘッドホンを使用してください。

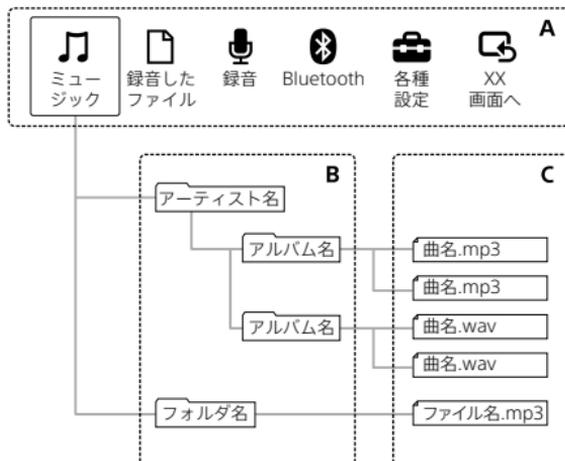
# フォルダとファイルについて

## リニアPCMレコーダー上で見えるフォルダとファイルの構成

### 「録音したファイル」の場合



### 「ミュージック」の場合

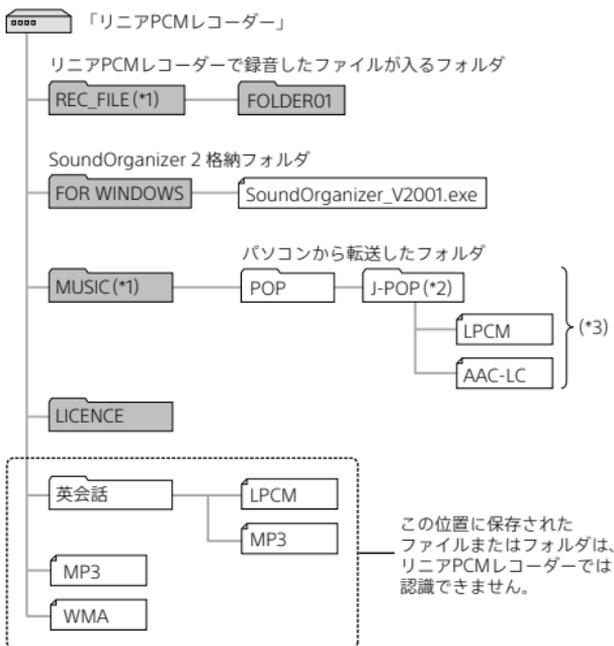


A : ホームメニュー B : フォルダ C : ファイル

## パソコン上で見えるフォルダとファイルの構成

リニアPCMレコーダーをパソコンに接続すると、フォルダやファイルの構成をパソコンの画面で見ることができます。WindowsではExplorerを使って、MacではFinderを使って、「PCMRECORDER」または「MEMORY CARD」を開くと、フォルダやファイルを表示できます。パソコンの画面で見ると、次の図のように表示されます。

### 内蔵メモリーの場合



\*1 REC\_FILEフォルダの中のファイルが、「 録音したファイル」に表示されるファイルです。MUSICフォルダの中のファイルが、「 ミュージック」に表示されるファイルです。ファイルを転送するときは、REC\_FILEフォルダ内またはMUSICフォルダ内に入れてください。

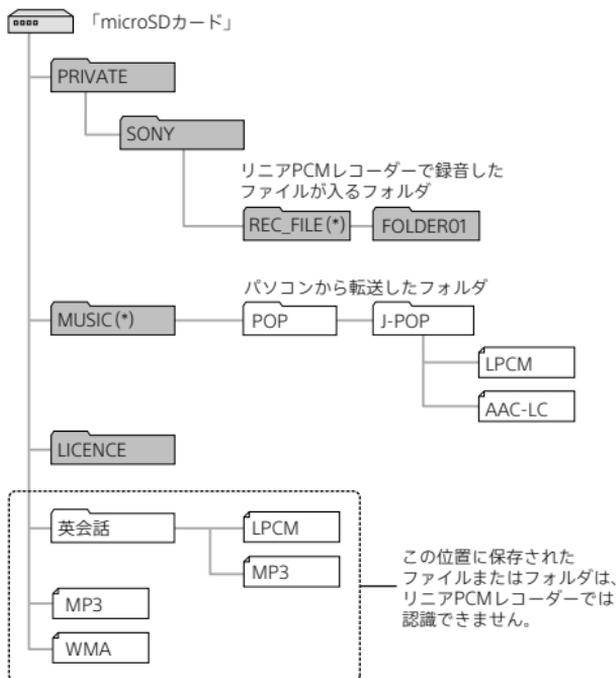
\*2 音楽ファイルが保存されたフォルダ名はリニアPCMレコーダーでも同じフォルダ名として表示されます。管理しやすいフォルダ名にしておくと便利です。(図は、フォルダ名称の例です。)

\*3 音楽ファイルを認識できるのは、リニアPCMレコーダーに転送したフォルダの8階層目までとなります。

- ・パソコンにある音楽ファイルをリニアPCMレコーダーに転送するときは、あらかじめタイトルやアーティストなどの情報を登録しておくとう便利です。情報を登録すると、リニアPCMレコーダーで音楽ファイルの情報を表示したり、登録した情報から音楽ファイルを検索したりすることができます。
- ・タイトル名が登録されていない場合は、リニアPCMレコーダーではファイル名が表示されます。

## microSDカードの場合

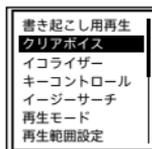
ファイルの保存先がmicroSDカードの場合、内蔵メモリーの場合とはフォルダの構成が異なります。



\* REC\_FILEフォルダの中のファイルが、「📁 録音したファイル」に表示されるファイルです。MUSICフォルダの中のファイルが、「🎵 ミュージック」に表示されるファイルです。ファイルを転送するときは、REC\_FILEフォルダ内またはMUSICフォルダ内に入れてください。

## 雑音を低減して音声を聞きやすくする(クリアボイス)

録音したファイルの音声以外の周辺ノイズをカットするため、クリアな音質で再生できます。



再生停止中／再生中に、オプションメニュー → 「クリアボイス」 → お好みの設定を選ぶ。

<b>オフ</b>	クリアボイス機能を解除します。
<b>クリアボイス1</b>	音声以外のノイズを低減し、声の大きさを自動調整して聞きやすいクリアな音になります。
<b>クリアボイス2</b>	「クリアボイス1」よりもさらに強いノイズ低減、音声の自動調整効果により、クリアな音質になります。

内蔵スピーカーまたはBluetoothオーディオ機器で再生しているときや、「🎵ミュージック」内のファイル再生時は、クリアボイス機能は働きません。

## 再生速度を調節する (DPC)

DPC (Digital Pitch Control) 機能を使うと、再生速度を0.25倍速から3.00倍速の間で調節できます。その際、音程はデジタル処理により、自然に近いレベルで再生されます。



- 再生停止中／再生中に、▲DPC (速度調節) ボタンを押す。
- ◀◀または▶▶ボタンを押し、再生速度を選択する (0.05倍速刻み (×0.25 ~ ×1.00)、または0.10倍速刻み (×1.00 ~ ×3.00))。
- ▲または▼ボタンを押して「オン」を選ぶ。

選べる再生速度は以下のとおりです。

<b>1.00倍速 ~ 0.25倍速</b>	サンプリング周波数 88.2 kHz以上のFLAC
<b>2.00倍速 ~ 0.25倍速</b>	サンプリング周波数 88.2 kHz未満のFLAC サンプリング周波数 88.2 kHz以上のLPCM
<b>3.00倍速 ~ 0.25倍速</b>	上記以外

## その他の方法で再生する

### 録音直後に再生する

録音を停止したあとに、録音停止画面で▶ボタンを押す。

### 再生中に早送り／早戻しする(キュー／レビュー)

再生停止中／再生中に、◀◀(早戻し・レビュー)または▶▶(早送り・キュー)ボタンを押したままにして、聞きたいところで離す。

最初は少しずつ早送り／早戻しされるので、1語分だけ戻したり、送ったりして聞きたいときに便利です。押し続けると、高速での早送り／早戻しになります。

### 聞きたいところをすばやく探す(イージーサーチ)

イージーサーチ機能を使うと、再生を開始したい場所をすばやく見つけることができます。

早送り／早戻しの間隔を設定することで長時間録音したものでも聞きたいところをすばやく探すことができます。

書き起こし用再生  
クリアボイス  
イコライザー  
キーコントロール  
イージーサーチ  
再生モード  
再生範囲設定

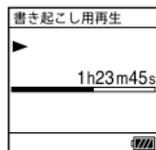
再生停止中／再生中に、オプションメニュー → 「イージーサーチ」 → お好みの設定を選ぶ。

オフ	イージーサーチ機能を無効にします。
オン	「間隔設定」で設定した間隔で再生を進めたり戻したりできます。
間隔設定	「イージーサーチ送り」で▶▶ボタンを押したときに進む間隔を、「イージーサーチ戻し」で◀◀ボタンを押したときに戻る間隔を設定します。この設定を行ってから、「オン」を選びます。

詳しい設定方法についてはヘルプガイド(81ページ)をご覧ください。

## 録音を書き起こす(書き起こし用再生)

書き起こし用再生機能を使うと、録音した1つのファイルを早送り／早戻ししながら聞きたい箇所を探せるので、議事録などを書き起こすときに便利です。書き起こし用再生中はファイルが繰り返し再生されます。

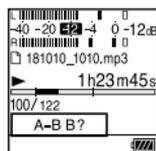


- ①再生停止中に、オプションメニュー → 「書き起こし用再生」を選ぶ。
- ②▶ ボタンを押して再生を開始する。

- ・書き起こし用再生中は動かない機能があります。詳しくはヘルプガイド(81ページ)をご覧ください。
- ・書き起こし用再生中または停止中に、オプションメニューから「書き起こし終了」を選ぶと、書き起こし用再生が終了して通常の再生になります。

## 必要な部分だけを再生する(A-Bリピート)

指定したA点とB点の区間を繰り返し再生します。



- ①再生停止中／再生中に、▼↻ A-Bボタンを押して、A点を指定する。
- ②もう一度▼↻ A-Bボタンを押して、B点を指定する。指定した区間が繰り返し再生されます。
- ③通常の再生に戻すには、▼↻ A-Bボタンをもう一度押す。

再生停止中、A点を指定したあと、同じ場所にB点を指定することはできません。この場合、A点がキャンセルされます。

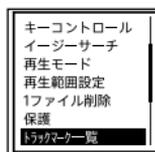
## 簡単に1ファイルをリピート再生する(長押しリピート再生機能)

再生中に▶ボタンを長押しするだけで、簡単に再生中のファイルをリピート再生することができます。機能を解除する場合は、▶ボタンまたは■停止ボタンを押してください。

- ・再生モードを設定している場合でも、長押しリピート再生機能を使うことができます。
- ・A-Bリピート再生中は、長押しリピート再生機能を使うことができません。

## トラックマーク一覧から目的の再生位置を探す

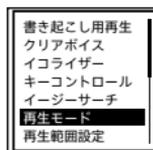
トラックマーク一覧に表示されたトラックマークから、目的の再生位置を簡単に探すことができます。



再生停止中/再生中に、オプションメニュー→「トラックマーク一覧」→目的のトラックマークを選ぶ。

## 再生モードを変える

用途に応じて、1ファイルのみの再生やリピート再生などの再生モードを選べます。

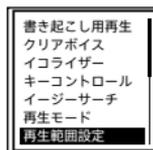


再生停止中／再生中に、オプションメニュー → 「再生モード」  
→ お好みの設定を選ぶ。

	ノーマル	再生範囲のファイルを順に再生します。
	リピート	再生範囲のファイルを順に繰り返し再生します。
	1ファイル再生	再生中または再生を始めたファイルだけを再生します。
	1ファイルリピート	再生中または再生を始めたファイルを繰り返し再生します。
	シャッフル	再生範囲の曲を順不同に再生します。
	シャッフルリピート	再生範囲の曲を順不同に繰り返し再生します。

## 再生範囲を指定する

「 録音したファイル」からファイルの検索方法（「最新の録音」、「録音日で探す」、「録音シーンで探す」、「フォルダ」）を選択して、表示された再生リストの中から再生する範囲を指定できます。

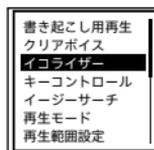


- ① 再生停止中／再生中に、オプションメニュー → 「再生範囲設定」を選ぶ。
- ② 「全範囲を再生」または「選択範囲内を再生」から選ぶ。

	全範囲を再生	録音したファイルの再生、ミュージック再生で選んだ検索方法の対象となるファイルをすべて再生します。
	選択範囲内を再生	再生中のファイルを含むフォルダ（録音日、録音シーン、アーティスト、アルバムなど）の中のファイルを再生します。

## 音質を切り替える(イコライザー)

曲のジャンルに合わせた音質を設定できます。お好みの設定をカスタム設定として登録することもできます。



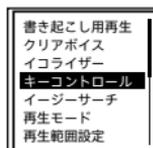
再生停止中／再生中に、オプションメニュー → 「イコライザー」 → お好みの音質を選ぶ。

<b>オフ</b>	イコライザー機能を無効にします。
<b>エキサイティング</b>	アップテンポな曲を聴いて気分をさらに上げてハイテンションになりたいとき、音楽を聴いてノリノリになりたいとき
<b>リラックス</b>	BGMのようにゆったりとした気分で音楽を聴きたいとき(音楽に集中していないシーンや、飛行機の中で流し聴きしながら寝たいときなど)
<b>ボーカル</b>	音楽の中のボーカルを特に注目して聴きたいとき
<b>高音ブースト</b>	高域を強調して聴きたいとき
<b>低音ブースト</b>	低域を強調して聴きたいとき
<b>カスタム</b>	5バンドのサウンドレベルを自由に設定できます。

内蔵スピーカーまたはBluetoothオーディオ機器で再生しているときは、イコライザー機能は動きません。

## 音程を調節する(キーコントロール)

再生の速度を変えずに音程(キー)を変更できます。

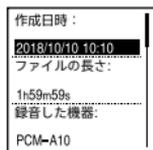


- ①再生停止中／再生中に、オプションメニュー→「キーコントロール」を選ぶ。
- ②▲または▼ボタンを押して音程を調節し、▶ボタンを押す。

#1～#6	半音ずつ上げます。
b1～b6	半音ずつ下げます。

## ファイル情報を表示する

リアPCMレコーダーで録音したファイルの情報(ファイルの長さや録音モード、作成日時など)を確認できます。



- 停止中に、オプションメニュー →「ファイル情報」を選ぶ。  
▲または▼ボタンを押して情報を切り替える。

ファイル情報として表示される項目について、詳しくはヘルプガイド(81ページ)をご覧ください。



# ワイヤレスで音楽を楽しむ

## BLUETOOTH®オーディオ機器で音声を聞く

Bluetoothオーディオ機器とリニアPCMレコーダーを接続して、音声をワイヤレスで聞くことができます。

録音中の音は、Bluetoothオーディオ機器からは聞くことができません。本体の☎(ヘッドホン)ジャックに接続したヘッドホンから聞いてください。

### 機器登録(ペアリング)する

Bluetoothオーディオ機器同士をはじめてワイヤレス接続するときには、お互いの機器を登録し合う必要があります。この登録のことを「ペアリング」といいます。

#### 1 接続するBluetoothオーディオ機器をペアリングモードにする。

リニアPCMレコーダーを1m以内に置いてください。

#### 2 再生停止中に、ホームメニュー(14 ページ)→Bluetooth® →「オーディオ機器」を選ぶ。

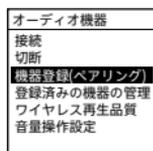
オーディオ機器のメニュー画面が表示されます。



### 3 「機器登録(ペアリング)」を選ぶ。

Bluetooth機能がオフになっている場合は、「Bluetoothをオンにしますか?」と表示されるので、「はい」を選び、▶ボタンを押します。

他のBluetoothオーディオ機器と接続中の場合は、「接続中のオーディオ機器を切断します。よろしいですか?」と表示されるので、「はい」を選んでください。



### 4 ▶ボタンを押して、Bluetoothオーディオ機器の検索を開始する。

ペアリング可能なBluetoothオーディオ機器の検索が始まり、該当する機器の機種名が表示されます。

### 5 ペアリングしたいBluetoothオーディオ機器を選ぶ。

ペアリングが完了すると自動的に接続が行われ、「接続処理が完了しました」と表示されます。

### 6 リニアPCMレコーダーで再生する。

Bluetoothオーディオ機器で音声聞くことができます。

#### Bluetooth接続を切断する

ホームメニュー → 「Bluetooth」 → 「オーディオ機器」 → 「切断」を選びます。切断すると、音声ファイルの再生は停止します。

#### Bluetoothヘッドホンと、本体に接続しているヘッドホンを切り替える

Bluetooth接続中は、(ヘッドホン)ジャックに接続したヘッドホンからファイルの再生音は出ません。

本体に接続しているヘッドホンを使うときはBluetooth接続を切断してください。

- ・ 次のような場合は、機器登録(ペアリング)の情報が削除されます。再度ペアリングしてください。
  - どちらかの機器、または両方の機器を、設定初期化などでお買い上げ時の状態に戻してしまった場合。
  - 修理を行ったなど、機器登録(ペアリング)の情報が削除されてしまった場合。
- ・ リニアPCMレコーダーと接続するBluetoothオーディオ機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。
- ・ Bluetooth無線技術では約10 mまでの距離で接続できますが、障害物(人体、金属、壁など)や電波状態によって、接続有効範囲は変動します。
- ・ リニアPCMレコーダーはBluetoothプロファイルとして、A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)とAVRCP(Audio/Video Remote Control Profile)に対応しています。接続するBluetoothオーディオ機器のプロファイルが、A2DPに対応している必要があります。AVRCPに対応したBluetoothヘッドホンなどからリニアPCMレコーダーの基本操作を行うことができます。
- ・ ペアリングの接続処理中にバスキー\*の入力画面が表示されたら、接続するBluetoothオーディオ機器のバスキーを確認し、入力してください。
- ・ 一度にペアリングできるのはひとつのBluetoothオーディオ機器のみです。複数の機器をペアリングするには、それぞれの機器を手順1から行ってください。
- ・ 同じBluetoothオーディオ機器の名前が表示されたときは、ペアリングしたい機器のBDアドレスを確認してください。BDアドレスについては、お使いのBluetoothオーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。
- ・ Bluetooth接続のオン/オフは、「Bluetooth」→「Bluetoothオン/オフ」で切り替えることもできます。
- ・ リニアPCMレコーダーのオートパワーオフ機能が設定されているときは、設定した時間が経過するとBluetooth接続中でも電源が切れます。オートパワーオフ機能の設定を変更してください。(13 ページ)

\* バスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。リニアPCMレコーダーのバスキーは[0000]です。Bluetoothオーディオ機器のバスキーについては、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

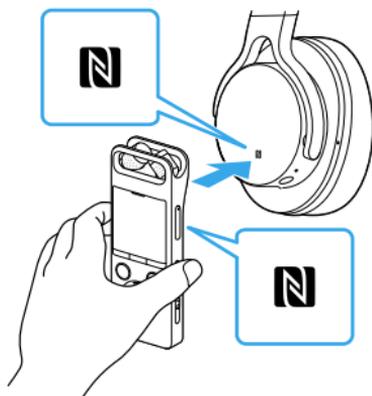
## ワンタッチ接続(NFC接続)する

接続したいNFC機能搭載Bluetoothオーディオ機器に、リニアPCMレコーダーをタッチすると、ペアリングとBluetooth接続が行われます。

1 Bluetoothオーディオ機器にNFCスイッチがある場合は、NFCスイッチをオンにする。

2 リニアPCMレコーダーをBluetoothオーディオ機器にタッチする。

リニアPCMレコーダーの **N** マーク部分を、Bluetoothオーディオ機器の **N** マーク部分にタッチします。リニアPCMレコーダーの画面に指示が出るまでタッチし続けてください。



3 画面の指示に従って接続を完了する。

- ・ 接続を解除するには、もう一度タッチします。
- ・ 接続がうまくいかないときは次のことを行ってください。
  - リニアPCMレコーダーを、Bluetoothオーディオ機器の **N** マーク部分の上でゆっくり動かす。
  - キャリングケースを付けている場合は、ケースを外す。

# スマートフォンでリニアPCMレコーダーを操作する (REC Remote)

対応スマートフォンに専用アプリ「REC Remote」をインストールすると、Bluetooth機能を使って、スマートフォンからリニアPCMレコーダーの録音操作をすることができます。

リニアPCMレコーダーの位置を固定して離れたところから録音操作ができるため、録音レベルの調整が簡単にできるとともに、操作時のノイズが録音されることもないので便利です。



REC Remoteのインストールや操作方法については、**「REC Remote(レックリモート)を使う」(別冊)**をご覧ください。

- ・ リニアPCMレコーダーのオートパワーオフ機能が設定されているときは、設定した時間が経過するとBluetooth接続中でも電源が切れます。オートパワーオフ機能の設定を変更してください。(13 ページ)
- ・ リニアPCMレコーダーをREC Remoteに接続するためには、最新のREC Remoteをインストールする必要があります。すでにREC Remoteをお使いの方も、必ず最新バージョンにアップデートしてください。

## Bluetooth機能のオン/オフを切り替える

REC Remoteを使用する場合に、Bluetooth機能を「オン」に切り替えます。

Bluetooth
<b>Bluetoothオン/オフ</b>
オーディオ機器
REC Remote
NFC設定
Bluetooth情報
オートパワーオフのご注意

リニアPCMレコーダーのホームメニュー(14 ページ)→  
「Bluetooth」→「Bluetoothオン/オフ」→「オン」または  
「オフ」を選ぶ。

## 機器登録(ペアリング)する

リニアPCMレコーダーとスマートフォンを接続して、機器登録(ペアリング)します。

Bluetooth
Bluetoothオン/オフ
オーディオ機器
<b>REC Remote</b>
NFC設定
Bluetooth情報
オートパワーオフのご注意

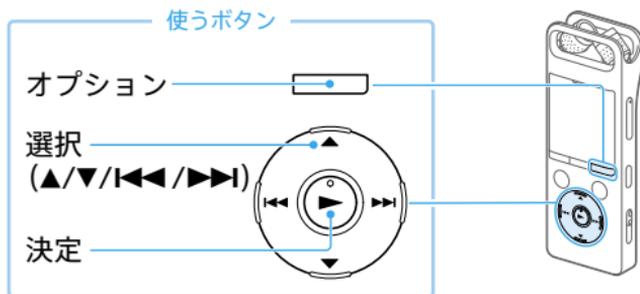
- ① リニアPCMレコーダーのホームメニュー(14 ページ)→  
「Bluetooth」→「REC Remote」→「機器登録(ペアリング)」  
を選ぶ。  
リニアPCMレコーダーのBluetooth機能がオフになっている場合は、リニアPCMレコーダーの画面に「Bluetoothをオンにしますか?」と表示されます。
- ② 「はい」を選択して、相手機器からのペアリング待ち状態にする。
- ③ スマートフォンのBluetooth機能をオンにする。
- ④ スマートフォンでREC Remoteを起動する。
- ⑤ スマートフォンでPCM-A10を検索し、互いの機器を登録する。

次のような場合は、機器登録(ペアリング)の情報が削除されます。再度ペアリングしてください。

- ・ どちらかの機器、または両方の機器を、設定初期化などでお買い上げ時の状態に戻してしまった場合。
  - ・ 修理を行ったなど、機器登録(ペアリング)の情報が削除されてしまった場合。
- また、リニアPCMレコーダーから機器登録(ペアリング)情報が削除され、スマートフォンにリニアPCMレコーダーのペアリング情報が残っている場合は、ペアリング情報を削除してから再度ペアリングしてください。
- スマートフォンのREC Remoteと本機の接続方法は、REC Remoteのヘルプをご確認ください。

# 編集する

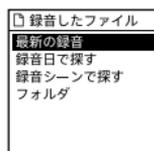
## ファイルを削除する



1 ホームメニュー(14 ページ)で「 録音したファイル」または「 ミュージック」を選び、決定する。



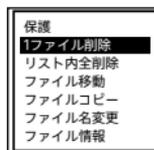
2 選択ボタンを押してファイルを検索する方法を選ぶ。  
「フォルダ」を選んだ場合は、ファイルの保存先のメモリーを選んで決定します。



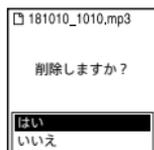
3 削除したいファイルを選ぶ。



- 4 オプションボタンを押し、オプションメニュー(16 ページ)から「1ファイル削除」、「リスト内全削除」または「フォルダ内全削除」を選ぶ。



- 5 「はい」を選び、決定する。



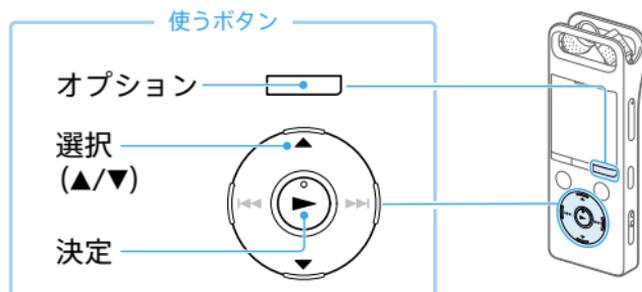
- ・一度削除したファイルはもとに戻すことはできません。
- ・保護設定されているファイルは、削除できません。保護設定を解除してから操作してください(62 ページ)。
- ・手順1で「 録音したファイル」を選び、フォルダ選択画面でオプションメニューから「フォルダ削除」を選ぶと、選んだフォルダとフォルダの中身を一度に削除できます。ただし、フォルダ内にサブフォルダが存在する場合は、サブフォルダと中に保存されているファイルは削除されません。

### ひとつのファイルの一部分だけ削除する

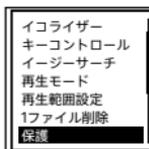
「ファイルを分割する」(66 ページ)で削除する部分としない部分に分け、削除したいファイルを選んでオプションボタンを押し、「1ファイル削除」を選びます。

## ファイルを保護する

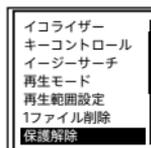
大事なファイルを間違って削除、編集することがないように保護できます。



- 1 再生停止中にオプションボタンを押し、「保護」を選ぶ。



- 2 保護を解除するには、保護されたファイルを選んでオプションボタンを押し、「保護解除」を選ぶ。



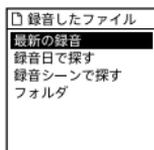
保護されたファイルは、再生画面で🔒(保護)マークが表示されます。

## フォルダやファイルの名前を変更する

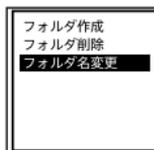
ホームメニューの「 録音したファイル」内のフォルダとファイルの名前を変更できます。

フォルダの場合はテンプレートから変更するフォルダ名を選べます。

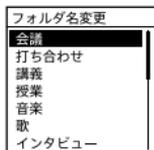
ファイルの場合はテンプレートから文字や記号を選択して、ファイル名の先頭に追加できます。



- ① ホームメニュー → 「 録音したファイル」 → ファイルの検索方法を選び、名前を変更したいフォルダまたはファイルを選ぶ。



- ② オプションメニュー → 「フォルダ名変更」または「ファイル名変更」を選ぶ。



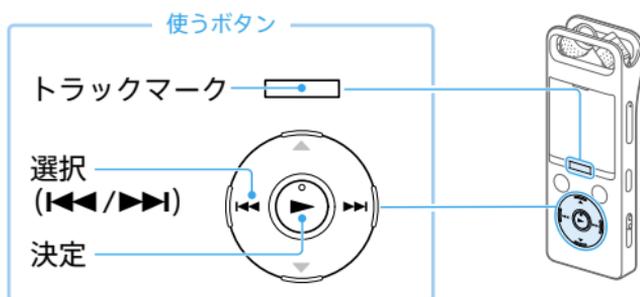
- ③ テンプレートからお好みのフォルダ名またはファイル名の先頭に追加したい文字、記号を選ぶ。

- ・ 「 ミュージック」内のフォルダ／ファイルは、操作できません。
- ・ 保護設定されているファイルは、操作できません。保護設定を解除してから操作してください(62 ページ)。
- ・ パソコンを使用すると、フォルダ名やファイル名を任意のものに変更することもできます。

## トラックマークを使う

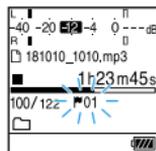
### トラックマークを付ける

再生時の頭出しや、分割位置の目安として利用するために、トラックマークを付けることができます。1つのファイルに98個まで設定できます。



- 1 録音中／再生中／録音一時停止中／再生停止中／に、トラックマークを付けたい場所でトラックマークボタンを押す。

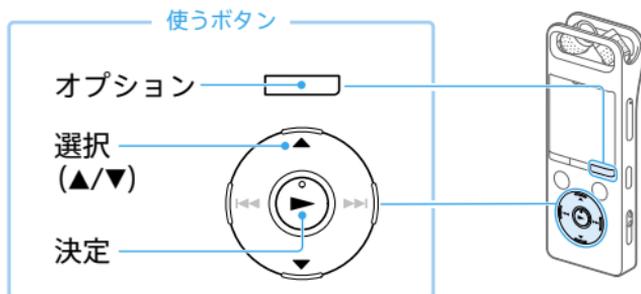
トラックマークが設定されます。



- ・ 保護設定されているファイルは、トラックマークが付けられません。保護設定を解除してから操作してください(62 ページ)。
- ・ トラックマークを付けた位置を探して聞くには、停止中／再生中に、選択ボタンを押します。
- ・ トラックマーク一覧から目的の再生位置をすばやく探すこともできます(49 ページ)。
- ・ 録音中に指定した間隔で自動的にトラックマークを付けられます(39 ページ)。
- ・ スマートフォン用アプリ(REC Remote)を使うと、トラックマークを4種類の中から選んで付けることができます。

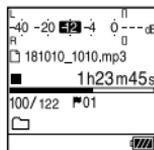
## トラックマークを削除する

現在位置のトラックマークやすべてのトラックマークを削除します。

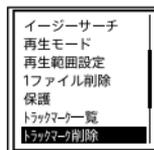


- 1 現在位置のトラックマークを削除する場合は、ファイルを選び削除したいトラックマーク位置の後で停止する。

すべてのトラックマークを削除する場合は、ファイルを選ぶ。

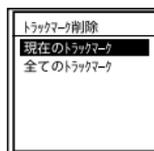


- 2 オプションボタンを押し、「トラックマーク削除」を選ぶ。



- 3 「現在のトラックマーク」または「全てのトラックマーク」→「はい」を選ぶ。

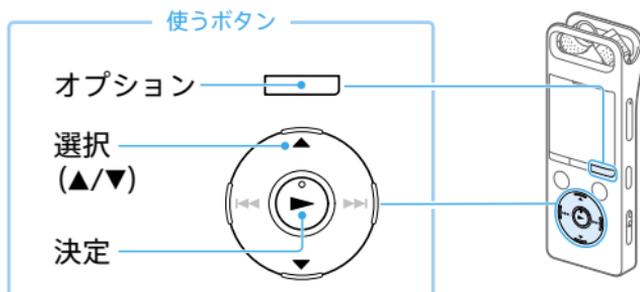
「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示され、トラックマークが削除されます。



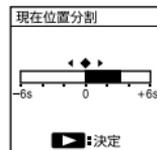
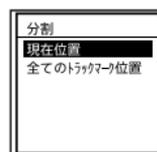
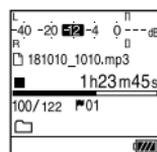
- ・保護設定されているファイルは、トラックマークを削除できません。保護設定を解除してから操作してください(62 ページ)。
- ・録音停止画面では、トラックマークを削除できません。ホームメニューを表示して、トラックマークを削除したいファイルを選んでから操作してください。

## ファイルを分割する

選んでいる位置やトラックマーク位置でファイルを分割できます。



- 1 分割したいファイルを選び、位置を指定する場合は、分割したい位置で再生を停止する。  
トラックマーク位置で分割する場合は、分割したいファイルを選ぶ。
- 2 オプションボタンを押し、「分割」→「現在位置」または「全てのトラックマーク位置」を選ぶ。
- 3 「現在位置」を選んだ場合は、分割のプレビュー画面で分割位置を確認して決定し、「はい」を選ぶ。  
「全てのトラックマーク位置」を選んだ場合は、「はい」を選ぶ。



### ファイル分割位置

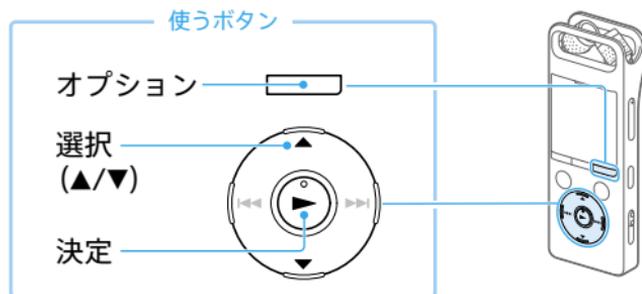


分割されたファイルは、末尾に「\_01」、「\_02」というように連番が振られます。

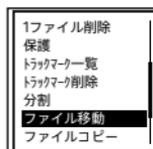
- ・ ファイルの再生中は、ファイルを分割できません。
- ・ 本機では、分割したファイルをつなげることはできません。  
「Sound Organizer 2」を使うと、ファイルの分割、結合をすることができます。
- ・ 保護設定されているファイルは、分割できません。保護設定を解除してから操作してください(62 ページ)。
- ・ ファイルの先頭や終端から近い位置にあるトラックマークは、分割されずにファイルに残る場合があります。

## フォルダ内のファイルを整理する (ファイル移動/ファイルコピー)

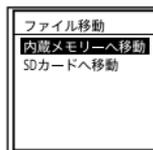
選んだファイルをお好みのフォルダに移動またはコピーできます。



- 1 再生停止中にオプションボタン  
を押し、「ファイル移動」または  
「ファイルコピー」を選ぶ。



- 2 移動先またはコピー先を選び、選  
択する。



- 3 フォルダを選び、選択する。  
「しばらくお待ちください」と表示さ  
れ、移動先/コピー先フォルダにファ  
イルを移動/コピーします。

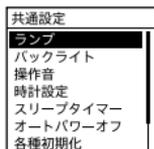


- ・「♪ミュージック」内のファイルは、移動またはコピーできません。
- ・保護設定されているファイルは、移動できません。保護設定を解除してから操作してください(62 ページ)。
- ・移動すると、もとのフォルダからそのファイルはなくなります。
- ・コピーすると、ファイルは同じファイル名でコピーされます。

## 各種設定を変更する

### 録音ランプ/ピークランプの点灯・消灯を設定する(ランプ)

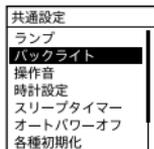
「オン」に設定すると動作中に録音ランプ/ピークランプが点灯・点滅します。



ホームメニュー → 「 各種設定」 → 「共通設定」 → 「ランプ」 → 「オン」または「オフ」を選ぶ。

### バックライトの設定をする(バックライト)

バックライトの点灯、消灯を設定します。

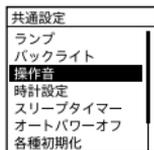


- ① ホームメニュー → 「 各種設定」 → 「共通設定」 → 「バックライト」を選ぶ。
- ② お好みの時間を選ぶ。

「常時」に設定すると、電池の寿命が短くなります。

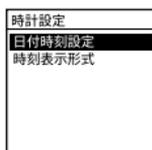
電池の消費を抑えるため、バックライトを「常時」に設定しても、再生停止または録音停止状態から1分以上操作をしない状態が続くと消灯します。

### 操作音の設定をする(操作音)



ホームメニュー → 「 各種設定」 → 「共通設定」 → 「操作音」 → 「オン」または「オフ」を選ぶ。

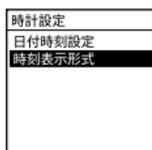
## 日付や時刻を合わせる(日付時刻設定)



- ① ホームメニューで「 各種設定」→「共通設定」→「時計設定」→「日付時刻設定」を選ぶ。
- ② ▲または▼ボタンを押して年の数字(西暦)を選び、▶ボタンを押す。
- ③ 同じ手順で、月、日、時、分の順に設定する。  
戻る／ホームボタンを押すと、カーソルが1つ前の項目に戻ります。  
「分」の数字を選んで▶ボタンを押すと、設定が時計に反映されます。

## 時刻表示の形式を選ぶ(時刻表示形式)

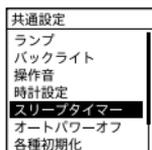
24時間表示と12時間表示を切り替えます。



ホームメニュー → 「 各種設定」 → 「共通設定」 → 「時計設定」 → 「時刻表示形式」 → 「12時間」または「24時間」を選ぶ。

## スリープタイマーを使う(スリープタイマー)

設定した時間が経過すると自動的にリニアPCMレコーダーの電源が切れます。



ホームメニュー → 「 各種設定」 → 「共通設定」 → 「スリープタイマー」 → お好みの時間を選ぶ。

- ・ オートパワーオフ機能が設定されているときは、スリープタイマーの設定時間の前に電源が切れることがあります。
- ・ 録音中や録音開始タイマーを設定中でも、スリープタイマーの設定時間が経過すると電源が切れます。
- ・ すでにスリープタイマーを設定している場合は、スリープタイマー動作中の画面が表示されます。スリープタイマーを停止する場合は、「停止」を選んでください。

## 電源が自動的に切れるまでの時間を設定する(オートパワーオフ)

あらかじめ指定した時間が経過すると、自動的に電源が切れます(13ページ)。

## メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻す(設定初期化)

メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

各種初期化
設定初期化
内蔵メモリー初期化
SDカード初期化

- ① 録音停止中または再生停止中にホームメニュー → 「 各種設定」 → 「共通設定」 → 「各種初期化」 → 「設定初期化」を選ぶ。
- ② 確認画面で「はい」を選ぶ。

「時計設定」については初期化されません。

## データを初期化する(内蔵メモリー初期化/SDカード初期化)

内蔵メモリーまたはmicroSDカード内すべてのデータを削除し、フォルダ構成を初期状態に戻します。

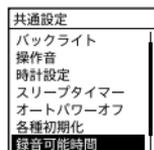
各種初期化
設定初期化
内蔵メモリー初期化
SDカード初期化

- ① 録音停止中または再生停止中にホームメニュー → 「 各種設定」 → 「共通設定」 → 「各種初期化」 → 「内蔵メモリー初期化」または「SDカード初期化」を選ぶ。
- ② 確認画面で「はい」を選ぶ。

- ・ 内蔵メモリーまたはmicroSDカードを初期化すると、保存されていたすべてのデータが削除されます。(保護したファイルやSound Organizer 2も削除されます。) 一度削除した内容はもとに戻すことはできません。ご注意ください。
- ・ Sound Organizer 2は、リアPCMレコーダー サポート・お問い合わせページからダウンロードできます。詳しくは、「Sound Organizer 2を使う」(別冊)をご覧ください。

## 録音可能時間を確認する(録音可能時間)

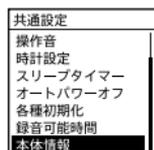
現在設定している録音モードでの録音可能な残り時間を表示します。



ホームメニュー → 「 各種設定」 → 「共通設定」 → 「録音可能時間」を選ぶ。

## 本体情報を確認する(本体情報)

本体の型名、本体のソフトウェアのバージョンを表示します。



ホームメニュー → 「 各種設定」 → 「共通設定」 → 「本体情報」を選ぶ。

## パソコンを活用する

リニアPCMレコーダーとパソコンを接続すると、以下のような便利な機能が使えます。

### Sound Organizer 2でファイルを管理・編集する （「Sound Organizer 2を使う」(別冊)）

ソフトウェアSound Organizer 2を使って、リニアPCMレコーダーで録音したファイルをパソコンに取り込んで管理・編集したり、パソコンに保存されている音楽ファイルをリニアPCMレコーダーに転送したりできます。

本機種は、Sound Organizer 1.6と接続することはできません。

Sound Organizer 1.6をお使いの方も、必ずSound Organizer 2をインストールしてお使いください

### USBメモリーとして利用する

パソコンに保存されている画像やテキストファイルなどを一時的に保存できます。

### 必要なシステム構成

パソコンと接続する場合や、USBメモリーとして使う場合に必要なシステム構成は以下の通りです。

Sound Organizer 2をお使いの場合は、「Sound Organizer 2を使う」(別冊) またはヘルプガイド(81ページ)をご覧ください。

### OS

- Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 7 (Service Pack1以降)
- macOS (v10.10 ~ v10.13)

### ■ ご注意

- ・推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。  
また、自作パソコンなどへお客様自身がインストールしたものや、アップグレードしたもの、マルチブート環境、マルチモニタ環境での動作保証はいたしません。
- ・最新の対応OSについては、102ページに記載のリニアPCMレコーダー サポート・お問い合わせページをご覧ください。

### 以下の性能を満たしたWindowsコンピューターまたはMac

- USBポート
- ディスクドライブ：音楽CDを作成する場合は、CD-R/RWドライブが必要です。

# 困ったときは

修理を依頼される前に、もう一度下記項目をチェックしてみてください。

「症状から調べる」(75ページ)の各項目で調べる。

## パソコンを利用できる場合

- ヘルプガイドで調べる(81ページ)
- リニアPCMレコーダー「サポート・お問い合わせ」のホームページで調べる(81ページ)
- Sound Organizer 2のヘルプで調べる  
(「Sound Organizer 2を使う」(別冊))

## 充電する。

充電すると問題が解決することがあります。

## リスタートする。

リスタートすると問題が解決することがあります。  
ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドさせたままの状態を8秒間維持します(①)。画面が消えたら、リスタートが行われるので、ホールド・電源スイッチから指を離してください。動作中にリスタートすると、リニアPCMレコーダーに保存しているデータや設定が削除される場合がありますので、動作中でないことを確認してから操作してください。

ホールド ← ● → 電源



①

上記を確認しても問題が解決しないときは、ソニーの相談窓口(103ページ)またはお買い上げ店に相談する。

修理に出すと、録音した内容が消えることがあります。ご了承ください。

## 症状から調べる

### ノイズ

#### ノイズが多く聞き取りにくい。

- 音声以外の周囲音が録音されてしまうことがあります。  
再生時に、クリアボイス機能を「クリアボイス1」または「クリアボイス2」に設定すると、プロジェクターや空調などの音声以外の周辺ノイズをカットします(46ページ)。全帯域のノイズを低減するため、人の声をクリアな音質で再生できます。  
ただし、内蔵スピーカーまたはBluetoothオーディオ機器で再生しているときや、音楽ファイルの再生時は、クリアボイス機能は働きません。

#### ノイズを少なく録音したい。

- 録音フィルター機能の「NCF (Noise Cut)」または、「LCF (Low Cut)」を選択すると、ノイズを軽減した録音ができます(25ページ)。  
また、シーンセレクト機能を使うと、さまざまな録音シーンに合わせて、録音モードやマイク感度などの録音に必要な項目を、一括でおすすめの設定に切り替えることができます(31ページ)。

### 録音

#### カサカサという音が録音されている。

- 録音したとき、リニアPCMレコーダーに手などがあたってたり、衣服とこすれたりすると雑音が録音されることがあります。  
録音が終わるまでは、なるべく本体に触れないようにしてください。

#### ジリジリという音が録音されている。

- 録音中や再生中にリニアPCMレコーダーを電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけると、ノイズが入ることがあります。  
リニアPCMレコーダーを離して録音してください。

#### 録音が途中で止まる。

- VORが作動しています。VORを使用しないときは、メニューで「オフ」にしてください(39ページ)。

#### 他の機器からの録音が勝手に止まる。

- シンクロ録音機能がオンになっています。オフにしてください。

## 電源

### 電源が入らない、または操作ボタンを押しても動作しない。

- 内蔵充電式電池が消耗しています。内蔵充電式電池を充電してください。
- 電源がオフになっています。画面が表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドさせると、電源が入ります(11ページ)。
- ホールドがオンになっています。ホールド・電源スイッチを中央位置にスライドさせてください(13ページ)。

### 電源が自動的に切れる。

- 停止状態で操作をしないまま放置していると、オートパワーオフ機能が働きます。(お買い上げ時は、設定は30分になっています。)メニューでオートパワーオフの設定を変更すると、電源オフまでの時間を変更できます(13ページ)。
- スリープタイマーで設定された時間が経過すると自動的に電源が切れます(70ページ)。(お買い上げ時は、設定は「オフ」になっています。)

### 電池の持続時間が短い。

- 90ページの電池の持続時間は、当社規定による測定値です。使用条件によって短くなる場合があります。
- 使用しない場合でも、わずかですが電池を消耗します。長い間お使いにならない場合は、電源を切る(11ページ)ことをおすすめします。また、オートパワーオフの設定時間(13ページ)を短くしておく、切り忘れでの電池の消耗を抑えることができます。
- REC Remoteを使用したり、Bluetoothオーディオ機器で音声を再生したりすると、電池の持続時間が短くなります。これらの機能を使用しない場合は、「Bluetoothオン/オフ」を「オフ」にしてください。
- 充電を開始すると、短時間で電池残量表示が点灯しますがフル充電になっていません。電池残量がない状態からフル充電までは約3時間かかります。
- 長い間使用していなかった場合は、何回か充電、放電(リニアPCMレコーダーを動作させる)を繰り返してください。
- 5℃以下の環境で使用しています。電池の特性によるもので故障ではありません。
- 内蔵充電式電池が劣化しています。  
充電式電池は、お使いの環境にもよりますが約500回の充電が可能です。十分に充電した状態でも、使用できる時間が通常の半分ほどになったときは電池が劣化しています。ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

## 充電

### 充電できない。

- 起動していないパソコンに接続しても充電できません。また、パソコンが起動していても、休止状態(スタンバイ、スリープ)のときは充電できません。
- パソコンからリニアPCMレコーダーを取り外し、再度接続してください。
- リニアPCMレコーダーのUSB端子が正しく接続されていません。
- 周囲温度が5℃～35℃の環境で充電してください。
- 市販のUSBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合は、リニアPCMレコーダーを直接接続してください。

## 再生

### 再生音量が小さい。

- 内蔵スピーカーは録音結果の簡易確認用のため、音声小さかったり、聞きづらいことがあります。その場合は、別売りのヘッドホンを使用してください。
- 録音されている音量が小さい場合があります。録音時に、録音レベルを調節してください(20ページ)。また、マイク感度の設定や、「シーンセレクト」で用途に合わせた録音シーンを選んでいるかを確認してください(31ページ)。

### 再生スピードが速すぎたり遅すぎたりする。

- DPC(速度調節)の設定が「オン」になっているため、調節した再生スピードで再生されています。DPC(速度調節)の設定を「オフ」にすると、通常で再生されます。または、DPC(速度調節)の設定で再生スピードを調節してください(46ページ)。

### 内蔵スピーカーから音が出ない。

- ヘッドホンをつないでいます。ヘッドホンを抜いてください。
- Bluetoothオーディオ機器と接続している場合は、内蔵スピーカーから音が出ません。Bluetooth接続を切断してください。(55ページ)

### ヘッドホンをつないでいても、内蔵スピーカーから音が出る。

- 別売りのヘッドホン差し込むとき、最後まで差し込まないと内蔵スピーカーからも音が聞こえてしまうことがあります。いったんヘッドホンを抜いて、最後までしっかり差し込んでください。

## 編集

### ファイルを分割できない。

- メモリーに一定の空き容量がありません。
- システムの制約により、ファイルのはじめと終わりでファイル分割できないことがあります。
- リニアPCMレコーダーで録音されたファイル以外(パソコンから転送したファイル)は、分割できません。
- ファイルの再生中は、分割できません。

### 作成したフォルダやファイルが見えない。

- パソコン上でフォルダやファイルを作成した場合、作成した場所によっては、リニアPCMレコーダーで認識できない場合があります。詳しくは44ページをご覧ください。

## 表示

### 録音日時表示が「----/--/--」または「--:--」になる。

- PCM-A10以外の機種で録音したファイルは、録音日時の記録方法が異なるため、録音日時が表示されない場合があります。

## ファイル

### 「メモリーが一杯です」のメッセージが表示され、録音できない。

- メモリーがいっぱいになっています。不要なファイルを削除する(60ページ)か、別のmicroSDカードもしくはパソコンに保存してから、ファイルを削除してください。

### 「ファイルが一杯です」のメッセージが表示され、操作できない。

- 内蔵メモリーおよびmicroSDカード内のフォルダとファイルの総数が5,000件を超えた場合、録音やファイルコピーはできません。不要なファイルを削除するか、別のmicroSDカードもしくはパソコンに保存してから、ファイルを削除してください。

## パソコン

### パソコンで認識しない。

### パソコンからフォルダ、ファイルが転送できない。

- パソコンからリニアPCMレコーダーを取り外し、再度接続してください。
- 市販のUSBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合は、リニアPCMレコーダーを直接接続してください。
- リニアPCMレコーダーが対応しているシステム構成(73ページ)以外では、動作保証はいたしかねます。
- お使いのパソコンのUSBポートの位置によっては、認識できないことがあります。別のUSBポートに接続してください。

## Bluetooth

### Bluetooth接続ができない。

- 電源が入っていません。リニアPCMレコーダーおよび接続するBluetoothオーディオ機器の電源を入れ、Bluetooth機能が有効になっていることを確認してください。
- 電池残量が少なくなっています、または電池残量がほとんどありません。リニアPCMレコーダーを起動中のパソコンかUSB ACアダプター(別売)で充電してください。
- 次のような場合は、機器登録(ペアリング)の情報が消えます。再度ペアリングしてください。
  - どちらかの機器、または両方の機器を、設定初期化などでお買い上げ時の状態に戻してしまった場合
  - 修理を行ったなど、機器登録(ペアリング)の情報が削除されてしまった場合
- リニアPCMレコーダーとBluetoothオーディオ機器の距離が離れすぎています。リニアPCMレコーダーとBluetoothオーディオ機器の距離が遠いと、Bluetooth接続ができなかったり途切れたりすることがあります。リニアPCMレコーダーとBluetoothオーディオ機器をなるべく離さないでご使用ください。

### ワンタッチ接続(NFC接続)ができない

- 電源が入っていません。リニアPCMレコーダーの電源がオンになっていることを確認してください。
- リニアPCMレコーダーのNFC設定がオフになっている可能性があります。再生停止中に、ホームメニュー(14ページ)→「Bluetooth」→「NFC設定」を選択し、「オン」にチェックマークが付いているか確認してください。
- ホームメニュー(14ページ)→「Bluetooth」→「NFC設定」→「詳細設定」で、「オーディオ機器のみ」または「REC Remoteのみ」のどちらかを選択している場合、選択していない項目の機器とはNFC接続できません。その場合は、「自動(推奨)」を選択してください。
- Bluetoothオーディオ機器のNFC機能がオフになっています。接続するBluetoothオーディオ機器によっては、NFC機能や電源をオンにする必要があります。詳しくは、Bluetoothオーディオ機器の取扱説明書をご確認ください。

### Bluetoothオーディオ機器の音量を操作できない。

- 接続するBluetoothオーディオ機器によっては、リニアPCMレコーダーで音量操作ができない場合があります。
- 接続するBluetoothオーディオ機器によっては、標準方式の音量操作に対応していない場合があります。いったんBluetooth接続を切断し、リニアPCMレコーダーのホームメニュー(14ページ)→「Bluetooth」→「オーディオ機器」→「音量操作設定」で「拡張方式」を選択したあと、再度Bluetooth接続してから音量操作を行ってください。

## REC Remote

### リニアPCMレコーダーを登録できない(ペアリングできない)。

- リニアPCMレコーダーと相手機器の距離が離れています。Bluetooth接続ができる距離(1m以内)で登録(ペアリング)を行ってください。

### Bluetooth接続ができない。

- 電源が入っていません。リニアPCMレコーダーおよび接続する相手機器の電源を入れ、Bluetooth機能が有効になっていることを確認してください。
- 電池残量が少なくなっています、または電池残量がほとんどありません。リニアPCMレコーダーを起動中のパソコンかUSB ACアダプター(別売)で充電してください。
- 次のような場合は、機器登録(ペアリング)の情報が消えます。再度ペアリングしてください。
  - どちらかの機器、または両方の機器を、設定初期化などでお買い上げ時の状態に戻してしまった場合
  - 修理を行ったなど、機器登録(ペアリング)の情報が削除されてしまった場合
- また、リニアPCMレコーダーから機器登録(ペアリング)情報が削除され、相手機器にリニアPCMレコーダーのペアリング情報が残っている場合は、ペアリング情報を削除してから再度ペアリングしてください。
- リニアPCMレコーダーと相手機器の距離が離れすぎています。リニアPCMレコーダーと相手機器の距離が遠いと、Bluetooth接続ができなかったり途切れたりすることがあります。リニアPCMレコーダーと相手機器をなるべく離さないでご利用ください。

### ワンタッチ接続(NFC接続)ができない。

- 電源が入っていません。リニアPCMレコーダーの電源がオンになっていることを確認してください。
- リニアPCMレコーダーのNFC設定がオフになっている可能性があります。再生停止中に、ホームメニュー(14ページ)→「Bluetooth」→「NFC設定」を選択し、「オン」にチェックマークが付いているか確認してください。
- ホームメニュー(14ページ)→「Bluetooth」→「NFC設定」→「詳細設定」で、「オーディオ機器のみ」または「REC Remoteのみ」のどちらかを選択している場合、選択していない項目の機器とはNFC接続できません。その場合は、「自動(推奨)」を選択してください。
- スマートフォンの画面ロックを解除してください。
- スマートフォンのNFC機能がオフになっています。接続するスマートフォンによっては、NFC機能や電源をオンにする必要があります。詳しくは、スマートフォンの取扱説明書をご確認ください。

## サポートページ／ヘルプガイドについて

### サポートホームページで調べる

パソコンをインターネットに接続できる環境の場合、  
リニアPCMレコーダー「サポート・お問い合わせ」のホームページ  
(<https://www.sony.jp/support/ic-recorder/>)でトラブルの解決方法や最新情報などを調べることができます。

### サポートホームページでは、以下の情報などを見ることができます。

- Q&A (よくある問い合わせ情報)
- ソフトウェアアップデートなどの最新情報
- 製品別サポート情報
- Sound Organizer 2のソフトウェアの使いかた
- 重要なお知らせ(サポートからの重要なお知らせ)
- 製品登録(製品登録へのご案内)
- Sound Organizer 2やヘルプガイドのダウンロードサービス

### ヘルプガイドで調べる

ヘルプガイドは、ヘルプガイドページ  
(<http://rd1.sony.net/help/icd/pcma10/ja/>)で見ることができます。



## 保証書とアフターサービス

### 保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

### アフターサービス

#### 調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

#### それでも具合の悪いときはサービスへ

ソニーの相談窓口(103ページ)、お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

#### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。  
詳しくは保証書をご覧ください。

#### 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

#### 部品の保有期間について

当社ではリニアPCMレコーダーの補修・性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。



# その他

## 主な仕様

### リニアPCMレコーダーの仕様

容量*1*2 (ユーザー使用可能領域)	16 GB (約12.80 GB = 13,743,895,347 Byte)
最大録音ファイル数 (1フォルダ内)	199ファイル
最大ファイル数	5,000ファイル(フォルダ数を含む)
周波数特性	<ul style="list-style-type: none"><li>• LPCM 96 kHz/24 bit (STEREO) : 40 Hz ~ 40,000 Hz (0 ~ -3 dB)</li><li>• LPCM 48 kHz/24 bit (STEREO) : 40 Hz ~ 21,000 Hz (0 ~ -3 dB)</li><li>• LPCM 48 kHz/16 bit (STEREO) : 40 Hz ~ 21,000 Hz (0 ~ -3 dB)</li><li>• LPCM 44.1 kHz/24 bit (STEREO) : 40 Hz ~ 20,000 Hz (0 ~ -3 dB)</li><li>• LPCM 44.1 kHz/16 bit (STEREO) : 40 Hz ~ 20,000 Hz (0 ~ -3 dB)</li><li>• MP3 320 kbps (STEREO) : 40 Hz ~ 20,000 Hz (0 ~ -3 dB)</li><li>• MP3 192 kbps (STEREO) : 40 Hz ~ 18,000 Hz (0 ~ -3 dB)</li><li>• MP3 128 kbps (STEREO) : 40 Hz ~ 16,000 Hz (0 ~ -3 dB)</li><li>• MP3 48 kbps (MONO) : 40 Hz ~ 14,000 Hz (0 ~ -3 dB)</li></ul>
対応ファイルフォーマット	MP3 *3*4 <ul style="list-style-type: none"><li>• ビットレート: 32 kbps ~ 320 kbps、 可変ビットレート (VBR) 対応</li><li>• サンプリング周波数: 16/22.05/24/32/44.1/48 kHz</li><li>• 拡張子: .mp3</li></ul> WMA *3*5 <ul style="list-style-type: none"><li>• ビットレート: 32 kbps ~ 192 kbps、 可変ビットレート (VBR) 対応</li><li>• サンプリング周波数: 44.1 kHz</li><li>• 拡張子: .wma</li></ul>

対応ファイルフォーマット	AAC-LC*3*6 <ul style="list-style-type: none"> <li>•ビットレート: 16 kbps ~ 320 kbps、 可変ビットレート (VBR) 対応</li> <li>•サンプリング周波数: 11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48 kHz</li> <li>•拡張子: .m4a</li> </ul>
	LPCM*3*7 <ul style="list-style-type: none"> <li>•量子化ビット数: 24 ビット</li> <li>•サンプリング周波数: 44.1/48/88.2/96/176.4/192 kHz</li> <li>•拡張子: .wav</li> </ul>
	LPCM*3*7 <ul style="list-style-type: none"> <li>•量子化ビット数: 16 ビット</li> <li>•サンプリング周波数: 22.05/44.1/48/88.2/96/176.4/192 kHz</li> <li>•拡張子: .wav</li> </ul>
	FLAC*3*7 <ul style="list-style-type: none"> <li>•量子化ビット数: 24 ビット</li> <li>•サンプリング周波数: 44.1/48/88.2/96/176.4/192 kHz</li> <li>•拡張子: .flac</li> </ul>
	FLAC*3*7 <ul style="list-style-type: none"> <li>•量子化ビット数: 16 ビット</li> <li>•サンプリング周波数: 22.05/44.1/48/88.2/96/176.4/192 kHz</li> <li>•拡張子: .flac</li> </ul>
信号対雑音比 (SN比)	<ul style="list-style-type: none"> <li>•録音モード : LPCM 96 kHz, 24 bit LPCM 44.1/48 kHz, 16/24 bit</li> <li>•SN比 : 87 dB以上 (1 kHz IHF-A) 負荷インピーダンス : 16 Ω</li> </ul>
最大入力音圧 (内蔵マイク)	123 dB SPL
全高調波ひずみ率	<ul style="list-style-type: none"> <li>•録音モード : LPCM 96 kHz, 24 bit LPCM 44.1/48 kHz, 16/24 bit</li> <li>•ひずみ率 : 0.06%以下 (20 kHz LPF) 負荷インピーダンス : 16 Ω</li> </ul>

Bluetooth	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 通信方式：Bluetooth標準規格 Ver 4.0</li> <li>• 最大通信範囲*<sup>8</sup>：見通し距離 約10 m</li> <li>• 使用周波数帯域： 2.4 GHz帯(2.4000 GHz ~ 2.4835 GHz)</li> <li>• 変調方式：FHSS</li> <li>• 対応Bluetoothプロファイル*<sup>9</sup>： SPP 1.2(Serial Port Profile)、A2DP 1.3(Advanced Audio Distribution Profile)、AVRCP 1.3(Audio Video Remote Control Profile)</li> <li>• 登録可能機器数：最大 8 台(REC Remote機器とオーディオ機器合わせて)</li> <li>• 対応コーデック*<sup>10</sup>：SBC(Subband Codec)</li> </ul>
内蔵スピーカー	直径16 mm
入力端子 (ステレオミニジャック)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• MIC IN時(プラグインパワー対応) 入力インピーダンス：3.9 k<math>\Omega</math> 規定入力レベル：2.5 mV 最小入力レベル：1 mV</li> <li>• Audio IN時 入力インピーダンス：4.7 k<math>\Omega</math> 規定入力レベル：2 V 最小入力レベル：18 mV</li> </ul>
出力端子 (ステレオミニジャック)	ヘッドホン <ul style="list-style-type: none"> <li>• 規定出力レベル：400 mV</li> <li>• 最大出力レベル：20 mW+20 mW以上、 負荷インピーダンス：16 <math>\Omega</math></li> <li>• 推奨負荷インピーダンス：16 ~ 32 <math>\Omega</math></li> </ul>
USB端子	Type-A High-Speed USB対応
カードスロット	microSD対応スロット
再生スピード調節(DPC)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 1.00倍速 ~ 0.25倍速： サンプリング周波数 88.2 kHz以上のFLAC</li> <li>• 2.00倍速 ~ 0.25倍速： サンプリング周波数 88.2 kHz以上のLPCM、 88.2 kHz未満のFLAC</li> <li>• 3.00倍速 ~ 0.25倍速：上記以外</li> </ul>
実用最大出力	200 mW
電源	DC 3.7 V、内蔵リチウムイオン充電式電池
動作温度	5 $^{\circ}$ C ~ 35 $^{\circ}$ C
最大外形寸法 (最大突起部含まず)	約39.2 mm $\times$ 109.5 mm $\times$ 16.0 mm (幅/高さ/奥行き)

質量	約82 g
付属品	6ページ参照
別売アクセサリ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• USB ACアダプター 市販のUSB ACアダプターを使用するときは、出力電流500 mA以上で給電可能なUSB ACアダプターをご使用ください。これ以外の機器からの充電は保証していません。</li> <li>• USBポータブル電源 最新の対応機器は、 <a href="https://www.sony.jp/battery/search/">https://www.sony.jp/battery/search/</a> をご覧ください。</li> </ul>

- \*1 メモリー容量の一部をデータ管理領域として使用しています。
- \*2 リニアPCMレコーダーで内蔵メモリーを初期化した場合
- \*3 すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。
- \*4 これに加えてリニアPCMレコーダーの各録音モードで録音したMP3ファイルの再生にも対応しています。
- \*5 WMA Ver.9には準拠していますが、MBR (Multi Bit Rate)、Lossless、Professional、Voiceには対応していません。
- \*6 著作権保護されたファイルは再生できません。
- \*7 176.4 kHzと192 kHzは、96 kHz以下にダウンサンプリング再生されます。
- \*8 通信環境によって変化する場合があります。
- \*9 Bluetoothプロファイルとは、Bluetooth機器の特性ごとに機能を標準化したものです。
- \*10 音声圧縮変換方式のこと

リニアPCMレコーダーの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

## 最大録音時間

録音モード、録音シーンの設定別で、最大録音時間\*1\*2を記載しています。  
最大録音時間は、全フォルダ合わせて表のとおりです。

録音モード (録音シーン*3)	内蔵メモリー
LPCM 96kHz/24bit (STEREO)	6時間35分
LPCM 48kHz/24bit (STEREO)	13時間15分
LPCM 48kHz/16bit (STEREO)	19時間50分
LPCM 44.1kHz/24bit (STEREO)	14時間25分
LPCM 44.1kHz/16bit (STEREO) (  /  /  / 	21時間35分
MP3 320kbps (STEREO)	95時間25分
MP3 192kbps (STEREO) (  /  /  / 	159時間
MP3 128kbps (STEREO)	238時間
MP3 48kbps (MONO)	636時間

録音モード (録音シーン*3)	メモリーカード			
	16 GB	32 GB	64 GB	128 GB
LPCM 96kHz/24bit (STEREO)	7時間25分	14時間50分	29時間40分	59時間35分
LPCM 48kHz/24bit (STEREO)	14時間50分	29時間45分	59時間35分	119時間
LPCM 48kHz/16bit (STEREO)	22時間20分	44時間40分	89時間25分	178時間
LPCM 44.1kHz/24bit (STEREO)	16時間10分	32時間25分	64時間55分	124時間
LPCM 44.1kHz/16bit (STEREO) (  /  /  /  )	24時間20分	48時間40分	97時間20分	194時間
MP3 320kbps (STEREO)	107時間	214時間	429時間	858時間
MP3 192kbps (STEREO) (  /  /  /  )	178時間	357時間	715時間	1,431時間
MP3 128kbps (STEREO)	268時間	536時間	1,073時間	2,147時間
MP3 48kbps (MONO)	715時間	1,431時間	2,863時間	5,726時間

## 1ファイル最大録音可能時間\*4

録音モード(録音シーン*3)	内蔵メモリー
LPCM 96kHz/24bit (STEREO)	2時間
LPCM 44.1kHz/16bit (STEREO) (  /  /  /  )	6時間45分
MP3 320kbps (STEREO)	7時間25分
MP3 192kbps (STEREO) (  /  /  /  )	12時間25分

\*1 連続録音の場合は、別売りのUSB ACアダプターが必要になります。

詳しくは電池の持続時間(90ページ)をご確認ください。

\*2 表記の最大録音時間は目安です。カードの仕様によって変わることがあります。

\*3 録音シーンはお買い上げ時の設定です。

\*4 システム制約でファイルサイズの上限(LPCMは4GB、MP3は1GB)を超えて録音する場合は、ファイルが分割されます。

## 音楽ファイル最大再生時間／ファイル数\*

ビットレート	再生時間	曲数
128 kbps	238時間	3,570ファイル
256 kbps	119時間	1,785ファイル

\* パソコンにある1ファイル4分のMP3ファイルを転送して再生する場合

## 電池の持続時間

ファイルのデータ形式別で、内蔵充電式電池の持続時間\*を記載しています。

録音モード	録音時	内蔵 スピーカー 再生時	ヘッドホン 再生時	REC Remote 録音時	Bluetooth 再生時
LPCM 96kHz/24bit (STEREO)	約15時間	約9時間	約18時間	約10時間	約14時間
LPCM 48kHz/24bit (STEREO)	約15時間	約9時間	約20時間	約10時間	約18時間
LPCM 48kHz/16bit (STEREO)	約15時間	約9時間	約20時間	約10時間	約18時間
LPCM 44.1kHz/24bit (STEREO)	約20時間	約9時間	約22時間	約12時間	約18時間
LPCM 44.1kHz/16bit (STEREO)	約20時間	約9時間	約22時間	約12時間	約18時間
MP3 320kbps (STEREO)	約22時間	約10時間	約25時間	約12時間	約18時間
MP3 192kbps (STEREO)	約22時間	約10時間	約25時間	約12時間	約18時間
MP3 128kbps (STEREO)	約22時間	約10時間	約25時間	約12時間	約18時間
MP3 48kbps (MONO)	約24時間	約10時間	約25時間	約12時間	約18時間
音楽ファイル (LPCM 192kHz/24bit)	—	約7時間	約13時間	—	約10時間

\* 当社規定による測定値です。使用条件によって短くなる場合があります。

## 充電時間

電池残量がない状態からフル充電までは約3時間かかります。

# 使用上のご注意

## 無線の周波数について

本製品が使用している周波数は、他の無線機器でも使用していることがあります。

他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

## 2.4 GHz機器使用上の注意事項

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または本製品の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。

この無線製品は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFHSS変調方式を採用し、与干渉距離は30 mです。



## 使用場所について

- 運転中の使用は危険ですのでおやめください。
- 飛行機内で使用する際は、離着陸時など、機内のアナウンスに従ってご使用をお控えください。

## 取り扱いについて

- 落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけないでください。リニアPCMレコーダーの故障の原因となります。
- リニアPCMレコーダーをお使いになるときは、キャビネットの変形や故障を防ぐために、次のことを必ずお守りください。
  - －リニアPCMレコーダーをズボンなどの後ろのポケットに入れて座らない。
  - －リニアPCMレコーダーにヘッドホンを巻き付けたまま、かばんの中に入れて、外から大きな力を加えない。
- 次のような場所には置かないでください。
  - －温度が非常に高いところ(60℃以上)。
  - －直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  - －窓を閉めきった自動車内(特に夏季)。
  - －風呂場など湿気の多いところ。
  - －ほこりの多いところ。
- 水がかからないようご注意ください。リニアPCMレコーダーは防水仕様ではありません。特に以下の場合、ご注意ください。
  - －洗面所などでリニアPCMレコーダーをポケットに入れての使用。  
身体をかがめたときなどに、落として水ぬれの原因になる場合があります。
  - －雨や雪、湿度の多い場所での使用。
  - －汗をかく状況での使用。  
ぬれた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットにリニアPCMレコーダーを入れると、水ぬれの原因になることがあります。
- 空気が乾燥する時期にヘッドホンを使用すると、耳にピリピリと痛みを感じるがありますが、ヘッドホンの故障ではなく、人体に蓄積された静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着的けていただくことにより、軽減されます。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

## ご使用について

- ヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはソニーの相談窓口(103 ページ)に相談してください。
- ヘッドホンをつけたまま寝ないでください。

## ノイズについて

- 録音中や再生中にリニアPCMレコーダーを電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中にリニアPCMレコーダーに手などが当たったり、こすったりすると、雑音が録音されることがあります。

## お手入れ

本体表面が汚れたときは、水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

## バックアップのおすすめ

万一の誤消去や、リニアPCMレコーダーの故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ず予備として、パソコンまたはメモリーカードに保存してください。

## リニアPCMレコーダーを廃棄するときのご注意

廃棄するときは、内蔵メモリーの初期化(71 ページ)を行い、すべてのデータを削除してください。



Li-ion

機器に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。

この充電式電池の取り外しはお客様自身では行わず、「ソニーの相談窓口」にご相談ください。(「ソニーの相談窓口」の連絡先は103ページに記載されています。)

## microSDカードのご使用について

- 初期化は必ず本機で行ってください(71 ページ)。パソコンなど本機以外の機器を用いて初期化したmicroSDカードは、本機での動作を保証しません。
- すでにデータが書き込まれているmicroSDカードを初期化すると、そのデータが消去されてしまいます。誤って大切なデータを消去することがないように、ご注意ください。
- microSDカードは、小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。
- 録音／再生／初期化中は、microSDカードを抜き差ししないでください。故障の原因となります。
- 表示窓に「接続中/アクセス中」「保存中」「しばらくお待ちください」が表示されている間はmicroSD カードを取り出さないでください。データが破損するおそれがあります。
- 対応仕様のmicroSDカードでも、すべてのmicroSDカードでの動作を保証するものではありません。
- ROMタイプのmicroSDカード、誤消去防止、書込み禁止のmicroSDカードは、ご使用できません。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  - －読み込み中、書き込み中にmicroSDカードを取り出したたり、機器の電源を切った場合
  - －静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- お客様の記録したデータの破損(消滅)については、弊社は一切その責任を負いかねますのでご容赦ください。
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- 端子部には手や金属などを触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所ではお使いにならないでください。
  - －使用条件範囲以外の場所(炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど)
  - －湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
- ご使用の際は正しい挿入方向をご確認ください。
- ラベルなどを貼らないでください。  
microSDカードが取り出せなくなる可能性があります。



下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

### 火の中に入れてない



禁止

### 内部を開けない

感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



分解禁止

### 運転中は使用しない

- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分ご注意ください。



禁止

### 内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



禁止

### 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。



禁止

### 周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しない

踏切りや駅のホーム、車の通る道、工事現場などでは、周囲の音が聞こえないと危険です。

そのような場所では使用しないでください。事故やけがの原因となります。



禁止

### 乳幼児の手の届くところに置かない

ウインドスクリーンは飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かないでください。

万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などの障害の原因になるため、直ちに医師にご相談ください。



禁止

## 注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

### 大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くとときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



禁止

### はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音がでて耳を痛めることがあります。



禁止

### 本製品を航空機内で使用する場合は、客室乗務員の指示に従う

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



指示

### 本製品を医療機器の近くで使用しない

電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。

満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使用しないでください。



禁止

### 本製品を心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。



注意

### 本製品を自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



禁止

### 本製品は、国内専用です

海外では国によって電波使用制限があるため、本製品を使用した場合、罰せられることがあります。



指示

- 本製品の不具合により、録音や再生ができなかった場合、および録音内容が破損または消去された場合など、いかなる場合においても録音内容の補償についてはご容赦ください。  
また、いかなる場合においても、当社にて録音内容の修復、復元、複製などはいたしません。
- 本製品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- お客様が録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 本機で録音された音声ファイルには、著作権保護技術は使用されていません。

## 著作権と商標について

### 著作権について

- 権利者の許諾を得ることなく、このマニュアルの全部または一部を複製、転用、送信等を行うことは、著作権法上禁止されています。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上権利者に無断で使用できません。  
著作権の対象になっている画像やデータの記録されたメディアは、著作権法の規定による範囲内で使用する以外にご利用いただけませんので、ご注意ください。

### モジュールについて

Sound Organizer 2は、以下のソフトウェアモジュールを使用しています。  
Windows Media Format Runtime

### 商標について

- Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- microSD、microSDHCおよびmicroSDXCロゴはSD-3C、LLCの商標です。



- Apple、Apple logo、iPhone、macOS、iOSおよびMacは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。  
「iPhone」の商標は、アイホン株式会社からライセンスを受け使用しています。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。
- 「Made for Apple」バッジは、アクセサリが本バッジに記載されたアップル製品専用に接続するように設計され、アップルが定める性能基準を満たしていることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
- iPhone対応モデル  
iPhone X、iPhone 8、iPhone 8 Plus、iPhone 7、iPhone 7 Plus、iPhone SE、iPhone 6s、iPhone 6s Plus、iPhone 6、iPhone 6 Plus、iPhone 5s、iPhone 5c、iPhone 5



- Google Play及びAndroidはGoogle LLCの商標です。
- BLUETOOTH®ワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、ソニー株式会社はライセンスに基づきこのマークを使用しています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。



- N-Markは米国およびその他の国におけるNFC Forum, Inc.の商標または登録商標です。



- ㊦は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。

その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

なお、本文中では®、™マークは明記していません。

## ライセンスについて

- 本機は、Fraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術特許に基づく許諾製品です。
- This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft Corporation. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft or an authorized Microsoft subsidiary.

### ライセンスに関する注意

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されております。

当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンス内容(英文)に関しては、リニアPCMレコーダーの内蔵メモリー内に記録されています。リニアPCMレコーダーとパソコンをマストレージ接続し、「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

### GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License(以下「GPL」とします)または、GNU Lesser General Public License(以下「LGPL」とします)の適用を受けるソフトウェアが含まれております。

お客様はGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

ソースコードは、Webで提供しております。

ダウンロードするには、以下のURLにアクセスしてください。

<http://www.sony.net/Products/Linux/>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容(英文)に関しては、リニアPCMレコーダーの内蔵メモリー内に記録されています。リニアPCMレコーダーとパソコンをマストレージ接続し、「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

# 索引

## 数字、アルファベット順

1ファイル削除	61
AAC-LC	85
A-Bリピート	48
Bluetooth機能	54, 59, 79
DPC (Digital Pitch Control)	46
FLAC	85
LCF (Low Cut)	25
LPCM	84
microSDカード	33, 71
MP3	84
Myシーン	32
NCF (Noise Cut)	25
NFC接続	57
REC Remote	58, 80
USB ACアダプター	10, 87
VOR (Voice Operated Recording)	39
WMA	84

## 五十音順

### あ行

アフターサービス	82
イージーサーチ	47
イージーサーチ間隔設定	47
イコライザー	51
ウインドスクリーン	7
オートパワーオフ	13
お手入れ	93
オプションメニュー	16, 18
音量調節	42

### か行

外部入力設定	35
書き起こし用再生	48
各種設定	15, 17, 69
各部のなまえ	7
キーコントロール	52
キュー	47
クリアボイス	46
クロスメモリー録音	38
現在位置分割	66
現在のトラックマーク	65
困ったときは	74

### さ行

再生	42, 77
再生モード	50
最大録音時間	88
削除	60, 61
シーンセレクト	31
時刻情報	39
時刻表示形式	70
システム構成	73
自動トラックマーク	39
充電	9, 77
修理	82
仕様	84
使用上のご注意	91
シンク口録音	40
全てのトラックマーク	65
全てのトラックマーク位置	66
スリープタイマー	70
設定初期化	71
操作音	12, 69

## た行

他の機器で録音	41
電源を入れる	11
電池の持続時間	76, 90
電池マーク	9
時計設定	12, 70
トラックマーク	64
トラックマーク削除	65
トラックマーク追加	64

## な行

内蔵充電式電池	90
内蔵マイク	21
内蔵マイク感度設定	35
内蔵メモリー	71
長押しリピート	49
ノイズ	30, 75

## は行

パソコンにつなぐ	9
パソコンを活用する	73
バックライト	69
ファイル	42, 43
ファイル移動	68
ファイルコピー	68
ファイル削除	61
ファイル情報	52
ファイル名変更	63
フォルダ	43
フォルダ削除	61
フォルダ作成	29
フォルダ名変更	63
プリレコーディング	36
分割	66
編集	60, 78

ホームメニュー	14
ホールド	13
保護	62
保証書	82
本体情報	72

## ま行

マニュアル録音	20
メニュー	14

## ら行

リスタート	74
リハーサル	23
リミッター	25
レビュー	47
録音	20, 75
録音開始タイマー	38
録音可能時間	72
録音時間	88
録音情報	35
録音フィルター	25
録音モード	34
録音ランプ	69

## わ行

ワンタッチ接続	57
---------	----

## お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- ホームページで調べるには  
→ リニアPCMレコーダー サポート・お問い合わせへ  
(<https://www.sony.jp/support/ic-recorder/>)

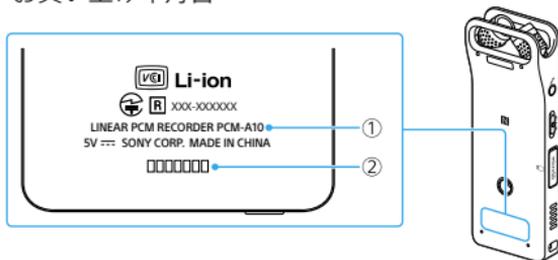
リニアPCMレコーダーに関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内するホームページです。

- 電話・FAXでのお問い合わせは  
→ ソニーの相談窓口へ  
(103ページに記載の電話・FAX番号)

本機の商品カテゴリーは[リニアPCMレコーダー]です。  
お問い合わせの際は、次のことをご知らせください。

### セット本体に関するご質問時：

- 型名 (①) : PCM-A10
- ご相談内容 : できるだけ詳しく
- シリアルナンバー (②) : 本体裏面に記載
- お買い上げ年月日



### ソフトウェアに関連するご質問時：

質問の内容によっては、お客様のシステム環境について質問させていただく場合があります。

上記内容に加えて、システム環境を事前に分かる範囲でご確認いただき、お知らせください。

型名 : PCM-A10

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

<https://www.sony.jp/support/>

### 使い方相談窓口

フリーダイヤル  
…………… **0120-333-020**  
携帯電話・PHS・一部のIP電話  
…………… **050-3754-9577**

### 修理相談窓口

フリーダイヤル  
…………… **0120-222-330**  
携帯電話・PHS・一部のIP電話  
…………… **050-3754-9599**  
※取扱説明書・リモコン等の購入相談は  
こちらへお問い合わせください。

**FAX(共通) 0120-333-389**



上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に  
「**303**」+「**#**」を押してください。直接、担当窓口へおつながります。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1



\* 4 7 3 9 7 8 1 0 1 \* (1)